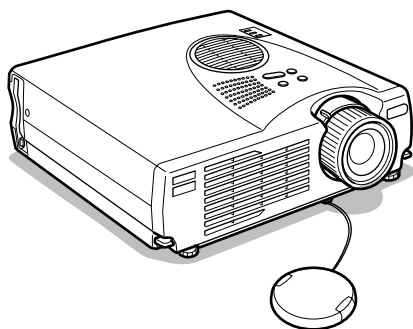


EPSON

マルチメディア・プロジェクター

M M PROJECTOR
ULTI EDIA

ELP-715/505



ご使用になる前に

設置

接続

投写する

便利な機能

調整・設定

困ったときに

メンテナンス

その他

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

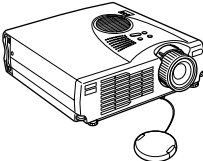
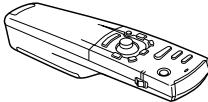
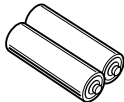
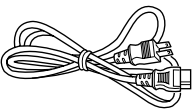
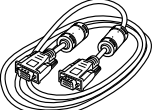
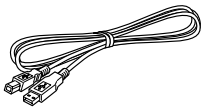
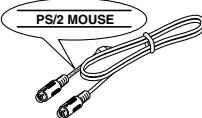
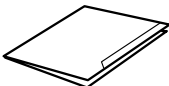
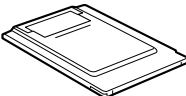
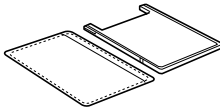
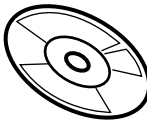
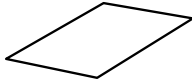
お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる
場所に、保証書とともに大切に保存してください。

保証書別添

同梱品の確認

プロジェクターと付属品を箱から取り出し、次のものが同梱されていることを確認してください。万一、不足しているものがあつた場合、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体 ひと付きレンズカバー 	リモコン 	リモコン用乾電池 (単3 形アルカリ乾電池) 	
電源ケーブル 	コンピュータケーブル ミニ D-Sub15pin/ ミニ D-Sub15pin 	A/V ケーブル 赤 / 白 / 黄色 	USB マウスケーブル 
PS/2 マウスケーブル 	クイックリファレンス 	取扱説明書 (本書) 	EasyMP 取扱説明書 
メモ리카ードセット (8MByte コンパクト フラッシュカード+ PC カードアダプタ)  ※メモ리카ードセットは プロジェクター本体に セットされています。	ダミーカード (ダミーカードとカード ケース) 	EasyMP Software (CD-ROM) 	仮保証書 
ソフトキャリングケース 	ソフトケース 		

■ 特長

● くっきり鮮やかな画面

明るさを大幅にアップしました。

明るいところでも、くっきり鮮やかに投写でき、プレゼンテーションに最適です。

● 幅広い表示解像度

新開発の高精細液晶パネルを採用。

(1024×768)

● 小型で軽量

コンパクトボディで持ち運びが簡単にできます。

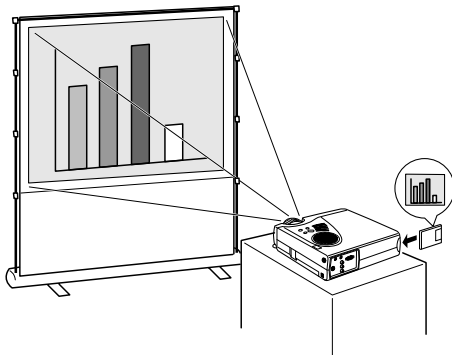
(約2.7Kg、6リットル)

● D 出力端子に対応

D4規格までのデジタルチューナーに対応しています。

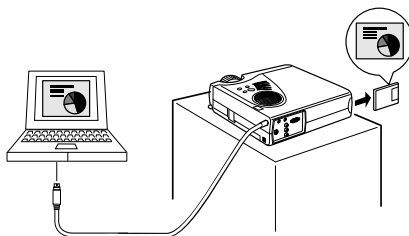
● PCMCIA カードスロット搭載

メモ리카ードに保存したデータを投写してプレゼンテーションできます。



● USB ポート搭載

USB マウスを使用できるほか、コンピュータを接続するとプロジェクターのメモ리카ードへデータを転送できます。(Easy MPでファイル一覧表示時のみ)



■ 目次

特長	1
本書の見かた	4
● 絵表示について	4
● 海外でお使いになる場合の ケーブルについて	4
安全上のご注意	5

ご使用になる前に 9

各部の名前と働き	9
● プロジェクター本体	9
● リモコン	13
● リモコンで操作できる範囲	16
● リモコンへの電池の入れかた	17

設置 18

設置方法	18
● スクリーンサイズと投写距離	19
● 投写角度	20

接続 21

コンピュータとの接続	21
● 接続できるコンピュータ	21
● ミニ D-Sub 15pin の場合	23
● 音声の接続	24
● 外部オーディオ機器との接続	25
● マウスとの接続 (ワイヤレスマウス機能)	26
ビデオ機器との接続	28
● コンボジット映像信号の場合	28
● S 映像信号の場合	28
● コンポーネント (色差 *) 映像信号の場合	29
● デジタルチューナの D 出力端子 * の場合	30

投写する 31

投写	31
● 準備	31
● 投写開始	33
終了	35
投写位置の調整	38
● フット調整	38
投写サイズの調整	39
● ズームの調整	39
● 台形補正	40
画質の調整	41
● フォーカス調整	41
● Auto 調整 (コンピュータ映像投写時) ..	41
● トラッキング調整 (コンピュータ映像投写時)	42
● 同期調整 (コンピュータ映像投写時) ..	42
機能の紹介	42

便利な機能 43

便利な機能	43
● ヘルプ機能	43
投写の中断	45
● A/V ミュート機能	45
● フリーズ機能	46
映像サイズの切り替え	47
映像の拡大 (E ズーム機能)	49
エフェクト機能	50
● カーソル / スタンプ	50
● 四角	51
● スポットライト	52
● バー	53
● エフェクトクリア	53
ピクチャー・イン・ピクチャー機能	54

調整・設定..... 55

音量の調節	55
メニューの構成	56
● メニュー項目	56
メニューの操作	59
● 操作方法	59
● 各設定項目	61
● 映像キャプチャ	64
● ユーザーロゴの登録	65

困ったときに..... 68

故障かなと思ったら	68
● オペレーションインジケータ	68
● ランプインジケータ	69
● 温度インジケータ	69
インジケータを見てもわからないとき . 70	
● 映像が写らない	70
● 映像が汚い	74
● 映像が切れる（大きい）/小さい	75
● 映像の色が悪い	76
● 映像が暗い	76
● 音が出ない	77
● リモコンで操作ができない	77
● 終了しない （[Power] ボタンを押した後...）	78

メンテナンス..... 79

本体の掃除・レンズの掃除・ エアーフィルタの掃除	79
● 本体の掃除	79
● レンズの掃除	79
● エアーフィルタの掃除	80
エアーフィルタの交換	81
● 交換のしかた	81
ランプの交換	82
● 交換のしかた	83

その他..... 85

オプション品	85
輸送方法について	86
用語解説	87
仕様	88
保証とアフターサービス	89
チェックシート	90
国際保証制度	92
索引	96

■ 本書の見かた

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

Point 説明の追加、覚えていると便利な内容を記載しています。

参照 参照ページを示しています。

* 用語解説を参照してください。

※ 「本機」または「本プロジェクター」という表記について
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

海外でお使いになる場合のケーブルについて

本プロジェクターに付属の電源ケーブルは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご利用いただけます。

国外で使用する場合は、その国の規格に適合する電源ケーブルを現地にてお求めになりお使いください。

なお、電源ケーブルをお求めになる場合は、「国際保証制度」(参照:92 ページ)に記載されている各国の連絡先にご相談ください。

● 海外の一般的な条件

次の条件は各国共通のものです。

1. 電源ケーブルは、プロジェクターを使用する国の承認機関による承認マークを付けた3線ケーブル(接地付き)でなければなりません。
2. 電源ケーブルは、最小許容電流7A、公称定格電圧125V、または250Vの交流用のものでなければなりません。
3. 電源ケーブルの長さは、4.5m以内でなければなりません。
4. カプラ(壁用のプラグでなく、本体と接続するコネクタの部分)は、EN60320/IEC320規格のインレット(標準シートC13)に適合するものでなければなりません。

● 国別承認機関

国名	承認機関	国名	承認機関
アメリカ	UL	スウェーデン	SEMKO
カナダ	CSA	デンマーク	DEMKO
イギリス	BSI	ドイツ	VDE
イタリア	IMQ	ノルウェー	NEMKO
オーストラリア	EANSW	フィンランド	FIMKO
オーストリア	OVE	フランス	UTE
スイス	SEV	ベルギー	CEBC

注:アメリカ、カナダのコードはSJT またはSVTタイプの3線ケーブルでなければなりません。

4 - 本書の見かた

■ 安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠ 警告

- 次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
 - 本機内部に水や異物が入った。
 - 本機を落したり、ケースを破損した。
- そのまま使用続けると、火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



- サービスマン以外の方は、本機のキャビネットを開けたりしないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。
- 内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

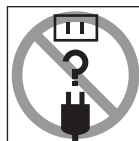


- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。



- 電源ケーブルは、仕様を確認してください。

電源ケーブルは、販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧やコンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。



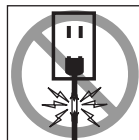
- 破損した電源ケーブルは、使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。



- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。

強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。



⚠ 警告

● 電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

取り扱いの際には、次の点を守ってください。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
- 電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。



● 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。水銀ランプは、大きな音を伴って破裂することがあります。次のことを守って安全にお使いください。

以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。

- ランプに衝撃や傷を与えないでください。
- ランプ交換時期を超えて使用しないでください。交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないように注意して、すみやかに部屋の換気を行ってください。
- ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけないでください。
- ランプが破裂し、新しいランプと交換する場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに交換を依頼してください。ランプが破裂した後は、本機内部にガラス破片が散乱している可能性があります。
- 天吊りで使用している場合は、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。やむを得ずご自身で清掃やランプ交換をする場合は、破片でけがをしないように、また、目や口に入らないように十分に注意してください。

万一、ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスやガラス破片が入った、あるいは具合が悪くなった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



● 本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



● 本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

- 本機または電池の入ったリモコンを、窓を開め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

- 本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上・傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



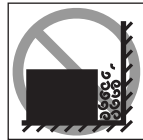
- 小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



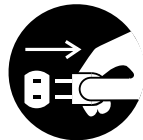
- 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。
 - 押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
 - じゅうたん・布団・毛布などの上。
 - 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。
 また、壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の隙間を開けてください。

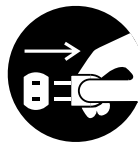


- 本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

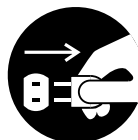


⚠ 注意

- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線ははずしたことを確認してからおこなってください。
火災・感電の原因となることがあります。



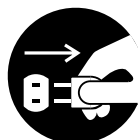
- 使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切ってから約60分間経過して、ランプ本体が十分冷えてからおこなってください。
熱で、やけど・けがの原因となることがあります。



- 乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。
 - 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
 - 取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
 - 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
 - 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
 - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
 - 極性(＋、－)を正しく入れる。
 - もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
 乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。



- お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。
感電の原因となることがあります。



使用上のご注意

- 使用温度範囲(+5℃～+35℃)以外の環境では、表示が不安定になったり、ファンに負担がかかり、故障の原因となることがあります。
- 保存温度範囲(-10℃～+60℃)以外の環境では、故障したり、ケースが変形することがあります。特に直射日光が当たる場所には長時間放置しないでください。
- レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
- 油煙やたばこなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- 本機の光源に使用している水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になったりして、寿命にいたります。このとき、ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に、かなり大きな差があります。これは、水銀ランプの特性によるものです。万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- プロジェクターの故障、および不点灯により発生した損害について、定められたサービス範囲以外は免責とさせていただきます。

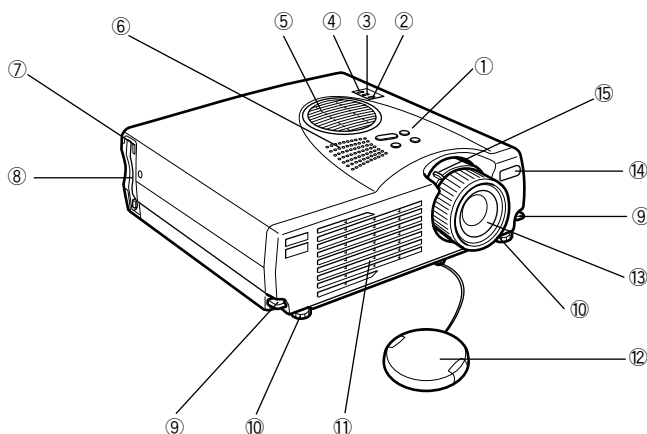
ご使用になる前に

ここでは、各部の名称とリモコンの取り扱いなど、ご使用前に確認していただきたい内容を説明しています。

■ 各部の名前と働き

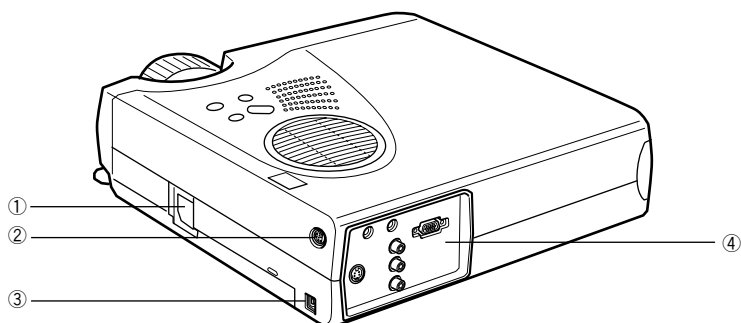
プロジェクター本体

● 前面



- ① 操作パネル
- ② オペレーションインジケータ
- ③ ランプインジケータ
- ④ 温度インジケータ
- ⑤ エアーフィルタ(吸気口)
- ⑥ スピーカ
- ⑦ PCMCIA カードアクセスランプ
- ⑧ PCMCIA カードスロット
- ⑨ フットレバー
- ⑩ フロントフット
- ⑪ 排気口
- ⑫ レンズカバー
- ⑬ フォーカスリング
- ⑭ リモコン受光部
- ⑮ ズームレバー

● 背面 / 側面



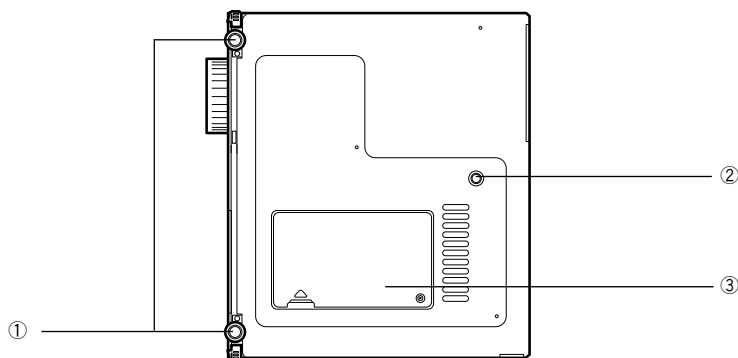
①電源端子

② Mouse/Com 端子

③ USB 端子

④入出力端子

● 裏面

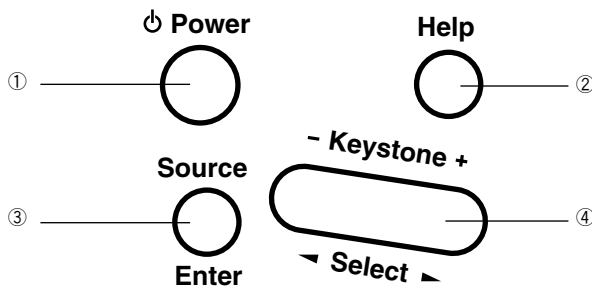


①フロントフット

②リアフット

③ランプカバー

● 操作パネル(本体上面)



①[Power] ボタン(参照:33, 35 ページ)

電源を ON/OFF します。

※電源を切るときは、2回押してください。

②[Help] ボタン(参照:43 ページ)

トラブルが起こったときの対処方法を表示します。困ったときに押してください。

③[Source](Enter)ボタン(参照:34, 43 ページ)

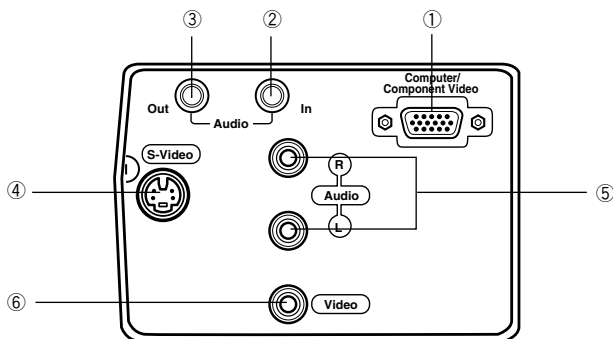
- 投写映像をコンピュータ(コンポーネント)→Sビデオ→コンボジットビデオ→EasyMPの順に切り替えます。Sビデオが入力されていないときは、S-Videoを表示しません。また、メモリカードが挿入されていないときは、EasyMPを表示しません。
- ヘルプが表示されているときは、[Enter](項目決定)ボタンとして動作します。

④[Keystone](Select)ボタン(参照:40 ページ)

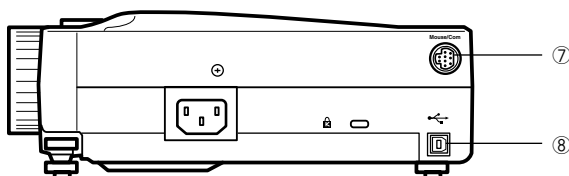
- 画面が台形に歪んだときに調整します。
- ヘルプが表示されているときは[Select](上下選択)ボタンとして動作します。

● 入出力端子

背面



側面



① Computer/Component Video 端子

コンピュータのアナログ映像信号や、A/V機器のコンポーネント映像信号を入力します。

② Audio In 端子

Computer 1 端子に接続した機器からの音声信号を入力します。ステレオミニジャックで接続します。

③ Audio Out 端子

プロジェクターの音声信号を出力します。

※ここにステレオミニジャックを接続すると、プロジェクター本体のスピーカから音がでなくなります。

④ S-Video 端子

ビデオ機器のS映像信号を入力します。

⑤ L-Audio-R 端子

Video 端子または S-Video 端子に接続したビデオ機器からの音声信号を入力します。RCAピンジャックで接続します。

⑥ Video 端子

ビデオ機器のコンポジット映像信号を入力します。

⑦ Mouse/Com 端子

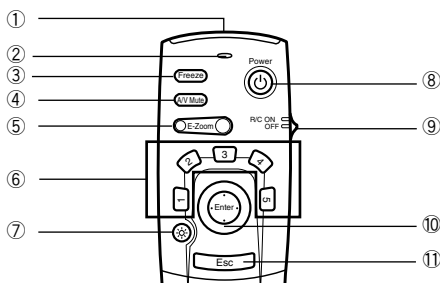
ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときにコンピュータと接続します。

⑧ USB 端子

- ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときに、コンピュータとUSBマウスケーブルで接続します。
- コンピュータからプロジェクターのメモリカードにデータを転送するときに、コンピュータとUSBケーブルで接続します。

リモコン

● 表面



①リモコン発光部

リモコン信号を出力します。

②インジケータ

リモコン信号を出力しているときに発光します。

※電池が弱くなったり[R/C ON OFF]スイッチがOFFになっていると発光しません。

③[Freeze] ボタン(参照:46 ページ)

映像を一時停止します。もう一度押すと解除します。

④[A/V Mute] ボタン(参照:45 ページ)

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すか、音量を調節または、メニューを表示すると投写を再開します。A/V ミュート時にユーザーロゴを投写するようにも設定できます。

⑤[E-Zoom] ボタン(参照:49, 54 ページ)

映像を拡大/縮小します。ピクチャー・イン・ピクチャー映像のときは子画面の映像を拡大します。[Esc] ボタンを押すと解除します。

⑥[Effect] ボタン(参照:50 ページ)

割り当てた装飾機能を実行します。[Esc] ボタンを押すと解除します。

⑦[☀️ (照明)] ボタン

リモコンボタンを約 10 秒間イルミネーション表示します。

⑧[Power] ボタン(参照:33, 35 ページ)

プロジェクター本体の電源をON/OFFします。

⑨[R/C ON OFF]スイッチ(参照:33, 36 ページ)

リモコンの電源をON/OFFします。このスイッチが「ON」になっていないとリモコンで操作できません。

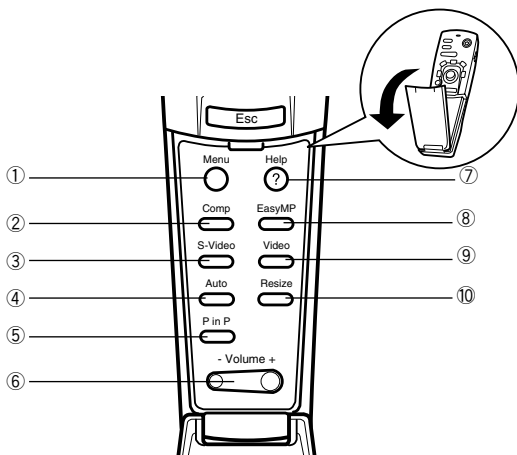
⑩[Enter] ボタン(参照:27, 59 ページ)

- 押した場合は、メニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。上下左右に倒すと、メニューの項目を選択する上下左右方向キーとして動作します。
- コンピュータ映像を投写している場合は、マウスの左クリックとして動作します。上下左右に倒すと、ポインタが移動します。

⑪[Esc]ボタン(参照:27, 60 ページ)

- 実行中の機能を終了します。メニューやヘルプ表示のときは、1つ上の階層に戻ります。
- コンピュータ映像を投写している場合は、マウスの右クリックとして動作します。

● カバー内部



①[Menu]ボタン(参照:59 ページ)

メニューを表示または終了します。

②[Comp]ボタン(参照:34 ページ)

Computer端子からの映像に切り替えます。

③[S-Video]ボタン(参照:34 ページ)

Sビデオ(S-Video)の映像に切り替えます。

④[Auto]ボタン(参照:41 ページ)

コンピュータ映像を最適化します。

⑤[P in P]ボタン(参照:54 ページ)

コンピュータ映像またはビデオ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。もう一度押すと解除します。

⑥[Volume]ボタン(参照:55 ページ)

音量を調節します。

⑦[Help]ボタン(参照:43 ページ)

トラブルが起こったときの対処方法を表示します。困ったときに押してください。

⑧[EasyMP]ボタン(参照:34 ページ)

メモ리카ードのデータを投写するEasyMPの映像に切り替えます。

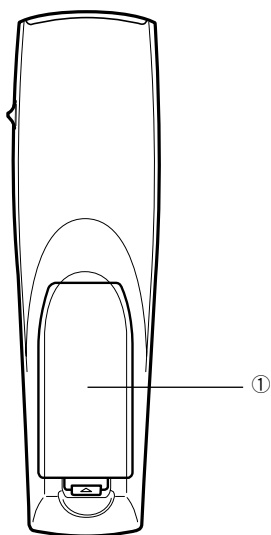
⑨[Video]ボタン(参照:34 ページ)

ビデオの映像に切り替えます。

⑩[Resize]ボタン(参照:47 ページ)

コンピュータ映像投写時は、ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像投写時はアスペクト比4:3と16:9を切り替えます。

● 裏面



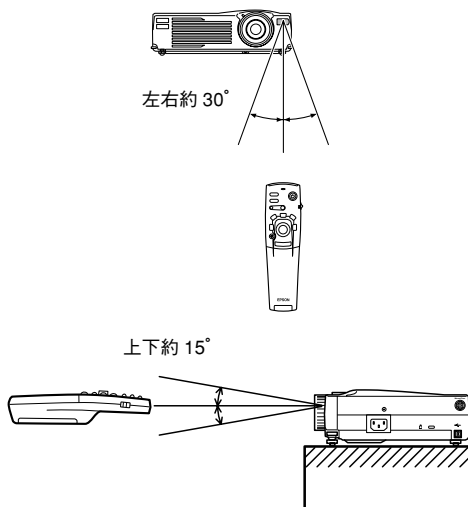
①電池カバー

リモコンで操作できる範囲

本体受光部との距離や角度によっては、リモコンで操作できない場合があります。以下の条件で使用してください。

● 操作可能距離: 約 10m

● 操作可能範囲:



Point

- リモコンをご使用になるときは、リモコンの R/C ON OFF スイッチを「ON」にしてください。
- リモコンはプロジェクター本体のリモコン受光部に向けてお使いください。
- リモコンをスクリーンに向け、信号を反射させてお使いのときは、スクリーンの種類により操作可能距離(約 10m)が短くなる場合があります。
- プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンが誤動作することがあります。
- リモコンが操作できなかったり、誤動作する場合は、電池の交換時期と考えられます。新しい電池に交換してください。

リモコンへの電池の入れかた

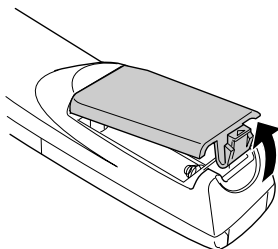
リモコンの電池は、次の手順で入れます。

⚠ 注意

未使用で同じ種類の電池を入れてください。

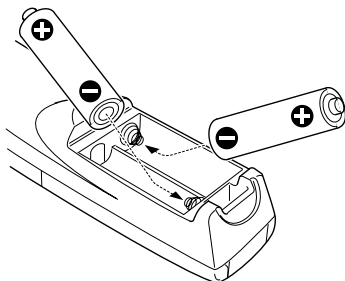
1 電池カバーを外します。

電池カバーのひっかけ部を押さえながら、上へ持ち上げます。



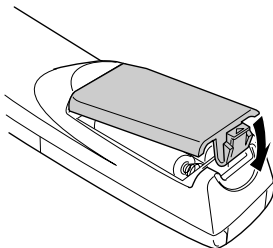
2 電池を入れます。

電池の向きは、必ずリモコンの(+) (−)の表示に合わせてください。



3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまで、電池カバーのひっかけ部を押さえます。



Point

- 指定乾電池: 単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) × 2 本
- 電池の交換時期の目安は、1 日 30 分使用した場合で約 3 ヶ月後です。

設置

ここでは、プロジェクターの設置例と、投写距離および投写角度について説明しています。

■ 設置方法

最適な画面になるように投写角度や投写距離を決めます。

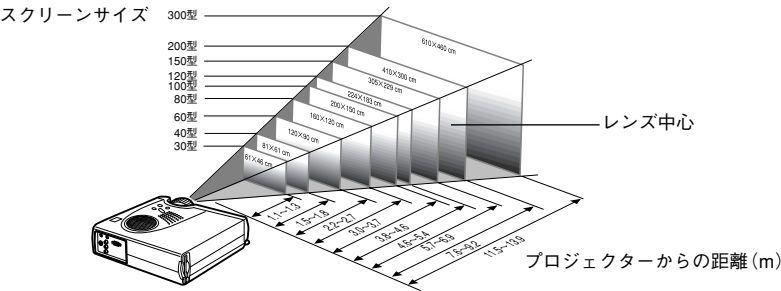
⚠ 注意

- 本体前面の排気口や本体上部のエアーフィルタ(吸気口)をふさがないようにしてください。
- 投写中、本体上部のエアーフィルタに、布や紙などが吸着されることがありますので、注意してください。
- 本体に、エアコンやヒーターなどの風が直接当たらないようにしてください。
- 壁際に設置するときは、壁から20cm以上の隙間をあけてください。
- 本体の上に、毛布、カーテン、テーブルクロスなどの布をかけないでください。

スクリーンサイズと投写距離

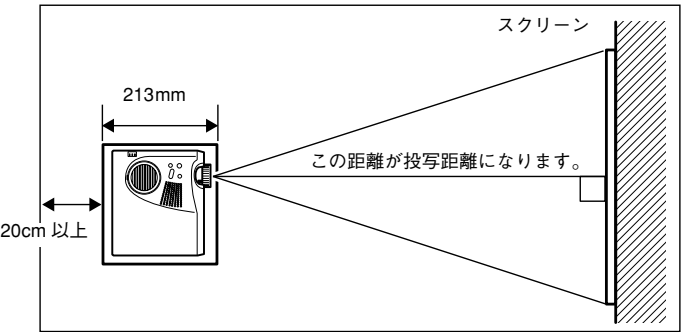
好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
プロジェクターの標準レンズはおおよそ 1.2 倍ズームですので、最大拡大時は、最小時の約 1.2 倍のサイズで投写できます。
下の表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるよう設置してください。

スクリーンサイズ	おおよその投写距離
30 型 (61 × 46cm)	1.1m ～ 1.3m
40 型 (81 × 61cm)	1.5m ～ 1.8m
60 型 (120 × 90cm)	2.2m ～ 2.7m
80 型 (160 × 120cm)	3.0m ～ 3.7m
100 型 (200 × 150cm)	3.8m ～ 4.6m
120 型 (224 × 183cm)	4.6m ～ 5.4m
150 型 (305 × 229cm)	5.7m ～ 6.9m
200 型 (410 × 300cm)	7.6m ～ 9.2m
300 型 (610 × 460cm)	11.5m ～ 13.9m



Point

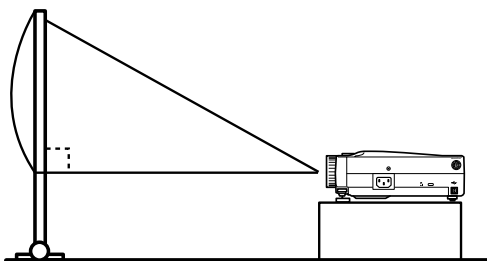
- 台形補正をすると、画面が小さくなります。
- プロジェクターは壁から 20cm 以上離して設置してください。



投写角度

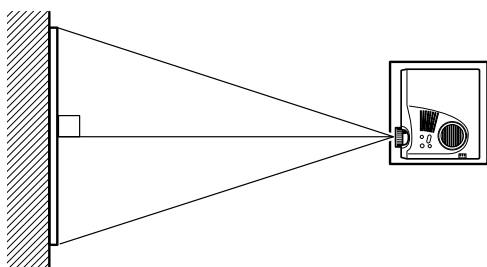
プロジェクターのレンズ中心がスクリーンと直角になるように設置したときに最適な画面になります。投写角度に注意して設置してください。

横から見たとき



A:B = 10:0 になります

上または下から見たとき



Point

投写位置は、フットレバーで調整(参照:38 ページ)することもできますが、この場合、画面が台形に歪むことがあります。台形歪みは台形補正で調整してください。(参照:40 ページ)

接続

ここでは、プロジェクターをコンピュータやビデオ機器と接続する方法について説明しています。

■ コンピュータとの接続

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。初めに、お使いのコンピュータが接続できるかどうか確認してください。

● 接続できるコンピュータの条件

条件 1: 接続するコンピュータに映像信号の出力ポートがあること

コンピュータに、「RGBポート」「モニタポート」「CRTポート」などの映像信号を出力させるポートがあることを確認してください。確認できない場合は、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目で確認してください。

コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり、外部出力ポートを別途購入する必要があるものがあります。

Point

コンピュータによっては、接続後にキー( /  など) や設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn] + [F3]	[Fn] + [F3]	[Fn] + [F5]	[Fn] + [F7]	[Fn] + [F7]	[Fn] + [F10]	再起動した後、コントロールパネルでモニタの調整でミラーリングの設定にする

上の表は、一部製品の一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

条件 2: 接続するコンピュータの解像度と周波数が次表の範囲内であること

コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が次表に対応していない場合は投写できません。(投写できる場合もありますが、鮮明な投写ではありません。)

コンピュータの取扱説明書で映像信号の解像度と周波数を確認してください。

また、コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、表の範囲内の設定に変更してください。

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示時 (リサイズON) 使用画素数 (ドット)	リアル表示時 (リサイズOFF) 使用画素数 (ドット)	備考
VGAEGA		640 × 350	1024 × 560	640 × 350	
VGA	60	640 × 480	1024 × 768	640 × 480	
VGA text		720 × 350	1024 × 640	720 × 350	
		720 × 400	1024 × 640	720 × 400	
VESA	72/75/85	640 × 480	1024 × 768	640 × 480	
SVGA	56/60/72/75/85	800 × 600	1024 × 768	800 × 600	
XGA	43i/60/70/75/85	1024 × 768	1024 × 768	1024 × 768	
SXGA	70/75/85	1152 × 864	1024 × 768	1152 × 864	仮想 (部分) 表示
SXGA	60/75/85	1280 × 960	1024 × 768	1280 × 960	仮想 (部分) 表示
SXGA	43i/60/75/85	1280 × 1024	960 × 768	1280 × 1024	仮想 (部分) 表示
UXGA※1	60	1600 × 1200	1024 × 768	1600 × 1200	仮想 (部分) 表示
MAC13		640 × 480	1024 × 768	640 × 480	
MAC16		832 × 624	1024 × 768	832 × 624	
MAC19		1024 × 768	1024 × 768	1024 × 768	
MAC21		1152 × 870	1016 × 768	1152 × 870	仮想 (部分) 表示
NTSC			1024 × 768	1024 × 576	4:3 ↔ 16:9 切替え
PAL			1024 × 768	1024 × 576	4:3 ↔ 16:9 切替え
SECAM			1024 × 768	1024 × 576	4:3 ↔ 16:9 切替え
SDTV (480i/P)	60		1024 × 768	1024 × 576	4:3 ↔ 16:9 切替え
HDTV (720P) 16 : 9	60		1024 × 576		
HDTV (1080i) 16 : 9	60		1024 × 576		

※1 ELP-505はUXGAには対応していません。

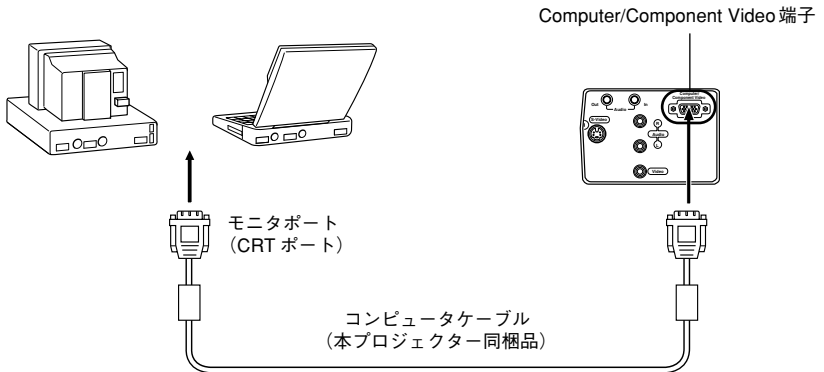
ミニ D-Sub 15pin の場合

⚠ 注意

- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

コンピュータのモニタポートとプロジェクターの Computer/Component Video 端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。

● モニタポートがミニ D-Sub15pin のとき



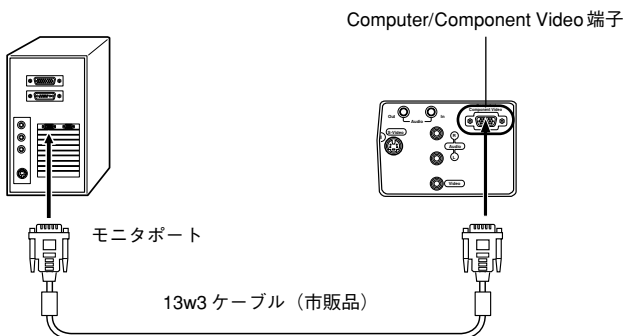
Point

- 接続後は、映像メニューの入力信号設定を「RGB」にしてください。(参照:61 ページ)
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- コンピュータのポート形状によっては、接続の際にアダプタなどが必要になります。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- Macintosh と接続するときは、市販のアダプタが必要になる場合があります。

● モニタポートが 13w3 のとき

ワークステーションと接続するなど、コンピュータのモニタポートが13w3 端子の場合でも、D-Sub 15 端子への変換ケーブルを利用することでComputer/Component Video 端子に接続できます。

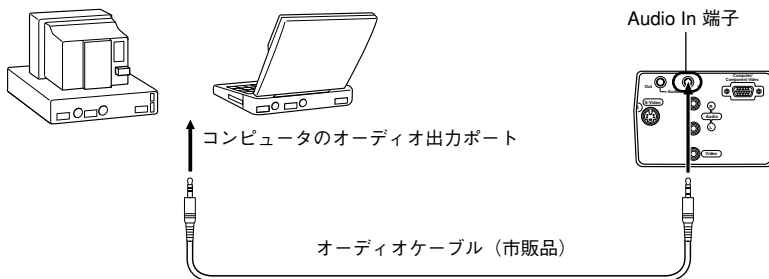
- コンピュータのモニタポート(13w3)とプロジェクターのComputer/Component Video 端子を 13w3⇒ D-Sub15ケーブル(市販品)で接続します。



音声の接続

本プロジェクターには、最大 1W で出力できる 1 個の内蔵スピーカがついており、コンピュータの音声をプロジェクターのスピーカから出力させることもできます。

コンピュータのオーディオ出力ポートとプロジェクターの Audio In 端子(ステレオミニジャック)をオーディオケーブル(市販品)で接続します。

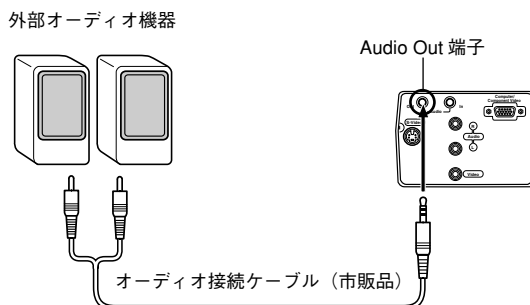


Point

オーディオ信号は、選択されている映像の音声を出力します。

外部オーディオ機器との接続

本機の Audio Out 端子と PA システムやアクティブスピーカーシステムなどのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。



市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ)←→ 3.5mm(ステレオミニジャック)などを使用します。

Point

- Audio Out 端子へステレオミニジャックを入れると、音声は外部へ出力されます。このとき、本体のスピーカから音声は出力されません。
- 投写している映像の音声出力されます。
- オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部に合わせてご購入ください。

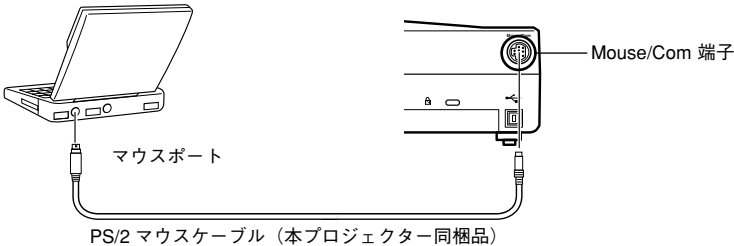
マウスとの接続(ワイヤレスマウス機能)

ワイヤレスマウスのように、コンピュータのマウスポインタを、リモコンで操作できるようになります。

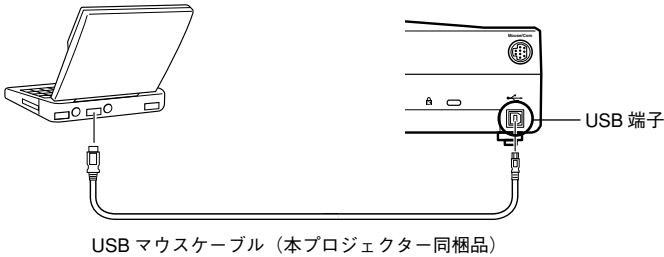
コンピュータのマウスポートとプロジェクターの Mouse/Com 端子または USB 端子をマウスケーブルで接続します。

コンピュータ	使用しているマウスの種類	使用するマウスケーブル
PC/AT DOS/V	PS/2 マウス	PS/2 マウスケーブル (同梱品)
	USB マウス	USB マウスケーブル (同梱品)
Macintosh (OS9 以降)	USB マウス	USB マウスケーブル (同梱品)

PS/2 マウスの接続例



USB マウスの接続例



Point

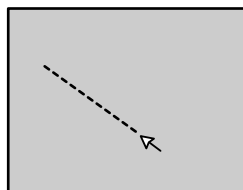
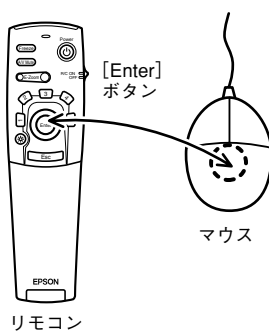
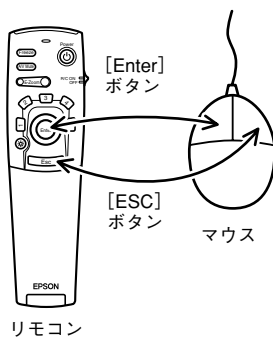
- USB マウスケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルのみの対応です。Windows の場合は、Windows98/2000/Me プリインストールモデルのみの対応となります。アップグレードした Windows98/2000/Me 環境下では動作を保証いたしません。Macintosh の場合は、OS9 以上の対応となります。Windows/Macintosh ともに OS のバージョンによりマウスが使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。
- 動作しない場合は、コンピュータの再起動が必要です。
- シリアルマウスや Macintosh 用の ADB マウスと接続する場合は、販売店にご相談ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

左クリック..... [Enter] ボタンを押す

右クリック..... [Esc] ボタンを押す

マウスポインタの移動..... リモコンの[Enter] ボタンを倒す



Point

- コンピュータでマウスボタンの左右を変更した場合は、操作が逆になります。
- メニュー表示中やエフェクト、ピクチャー・イン・ピクチャー、Eズーム機能を使用しているとき、および映像サイズをリアル表示(リサイズ OFF)にしているときはマウス操作ができません。
- マウスポインタの移動速度を変えることができます。(参照:62 ページ)

■ ビデオ機器との接続

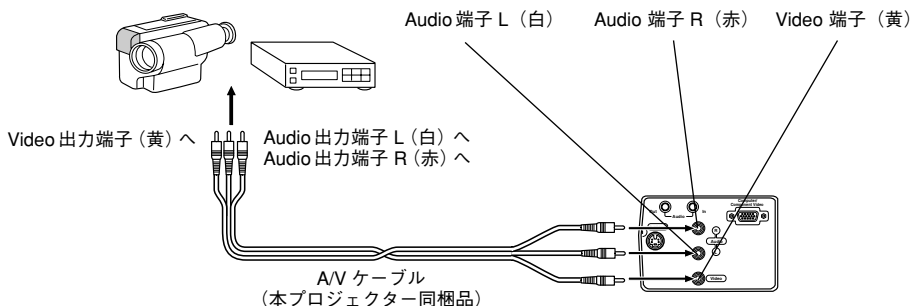
接続する前には、プロジェクターとビデオ機器の電源を切ってください。

Point

選択されている映像の音声を出力します。

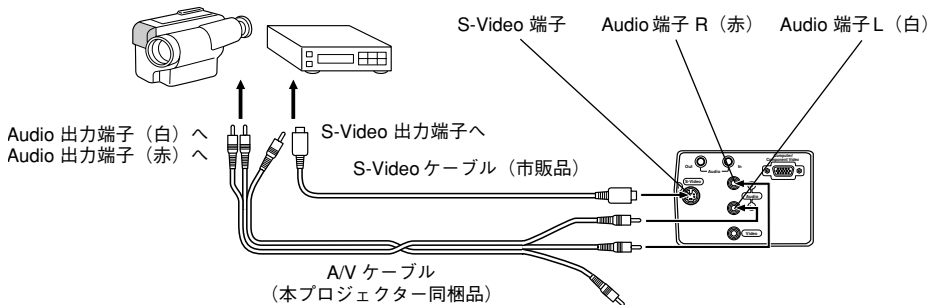
コンポジット映像信号の場合

ビデオ機器とプロジェクターのVideo端子とL-Audio-R端子を同梱のA/Vケーブル(赤/白/黄色)で接続します。



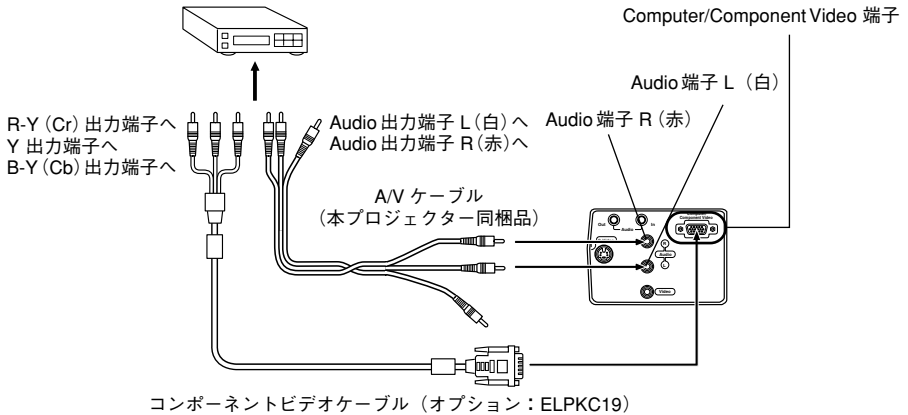
S 映像信号の場合

- ビデオ機器とプロジェクターのS-Video端子をS-Videoケーブル(市販品)で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のA/Vケーブル(赤/白/黄色)でL-Audio-R端子に接続します。



コンポーネント(色差*)映像信号の場合

- ビデオ機器とプロジェクターのComputer/Component Video端子をオプションのコンポーネントビデオ用ケーブル(ELPKC19)で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のA/Vケーブル(赤/白/黄色)でL-Audio-R端子に接続します。

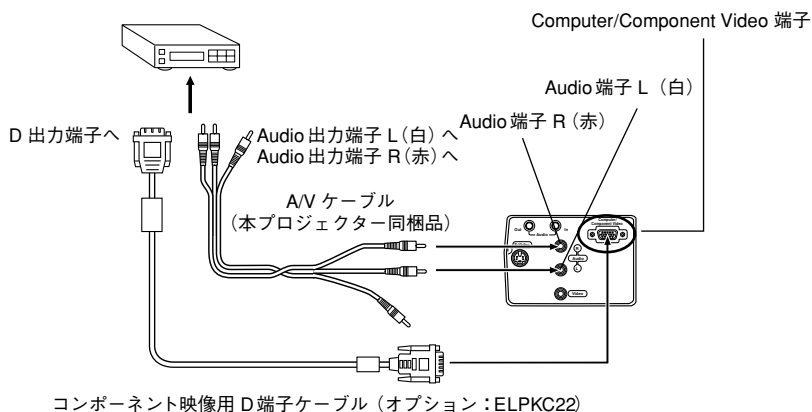


Point

接続後は、映像メニューの入力信号設定を、機器の信号に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。(参照:61 ページ)

デジタルチューナの D 出力端子* の場合

- デジタルチューナとプロジェクターのComputer/Component Video 端子をオプションのD 端子ケーブル(ELPKC22)で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のA/V ケーブル(赤/白/黄色)で L-Audio-R 端子を接続します。



Point

- 接続時には、映像メニューの入力信号設定を機器の信号に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。(参照:61 ページ)
- デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までのデジタルチューナに対応しています。

投写する

ここでは、投写開始と終了、投写映像を調整する基本的な機能について説明しています。

■ 投写

接続後は、映像を投写します。

準備

⚠ 警告

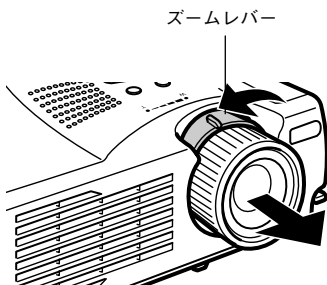
- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因になります。
- 電源ケーブルは同梱品を使用してください。同梱品以外を使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

1 プロジェクターとコンピュータやビデオ機器を接続します。(参照 :21, 28 ページ)

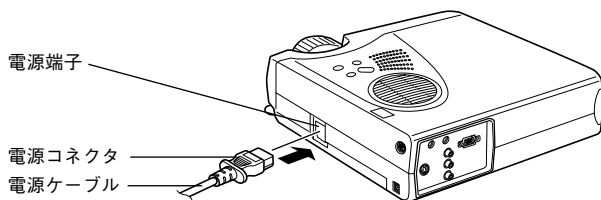
2 ズームレバーをセンター位置まで回し、レンズを出します。
ズームレバーをセンター位置まで回さないと投写時にピントが合いません。



3 レンズカバーをはずします。

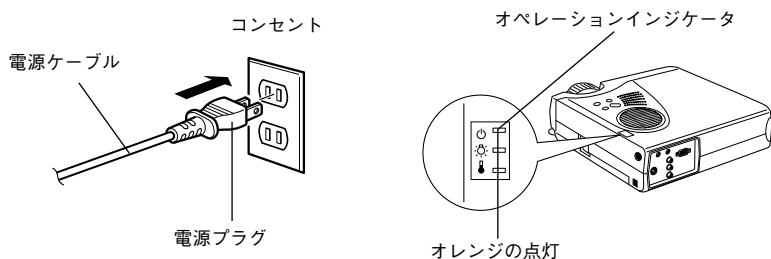
4 プロジェクターに、同梱の電源ケーブルを取り付けます。

プロジェクターの電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込みます。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。

オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。



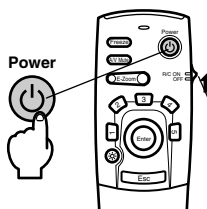
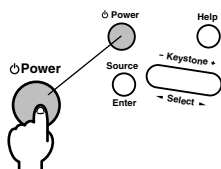
Point

オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

投写開始

1 [Power] ボタンを押し、電源を入れます。

オペレーションインジケータが緑の点滅に変わり、投写が始まります。



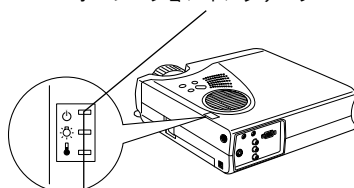
リモコン使用の場合は、先に R/C ON OFF スイッチを「ON」にします。

しばらくすると、オペレーションインジケータが点滅から緑の点灯に変わります。



映像信号が入力されていないときには、「映像信号が入力されていません」と表示されます。(ノースIGNAL表示設定により表示されない場合があります。)(参照:62ページ)

オペレーションインジケータ

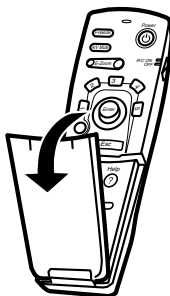


緑の点滅→点灯

Point

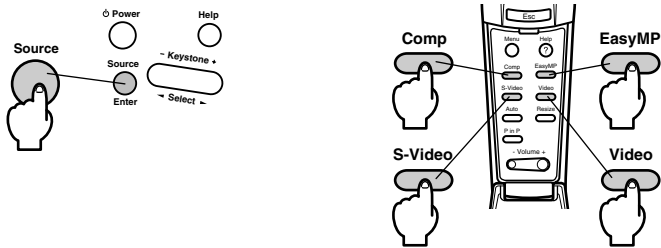
オペレーションインジケータが緑色に点滅しているときは、ボタン操作ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

2 リモコン使用の場合は、リモコンのカバーを開けます。



3 複数の機器を接続した場合は端子を選びます。

コンピュータまたはビデオ機器を接続した端子のボタンを押して入力ソースを切り替えます。



映像	選択するボタン		画面右上の表示
	本体	リモコン	
Computer (コンポーネント)		[Comp]	Computer
Video	[Source] (押すごとに切り替わる)	[Video]	Video
S-Video		[S-Video]	S-Video
メモ리카ード		[EasyMP]	EasyMP

Point

- 接続機器が1台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
- S-Videoが入力されていないときは[Source]ボタンでS-Videoに切り替わりません。
- メモ리카ードが挿入されていないときは[Source]ボタンでEasyMPに切り替わりません。

4 投写を開始します。

コンピュータまたはビデオ機器の電源を入れます。ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

「映像信号が入力されていません」の表示が消え、映像が投写されます。

Point

- 「映像信号が入力されていません」が表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- コンピュータによっては、接続後にキー(⌘/⌘など)や設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn] + [F3]	[Fn] + [F3]	[Fn] + [F5]	[Fn] + [F7]	[Fn] + [F7]	[Fn] + [F10]	再起動した後、コントロールパネル→モニタの調整でミラーリングの設定にする

上の表は、一部製品の一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

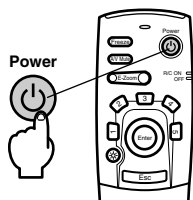
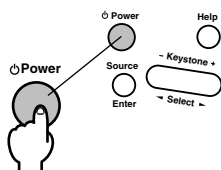
- DVD プレーヤーなどからワイドテレビ対応(16:9の映像)の信号を入力したときは、[Resize]ボタンを押してください。ボタンを押すごとに4:3の映像と16:9の映像が切り替わります。
- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。

■ 終了

次の手順で終了します。

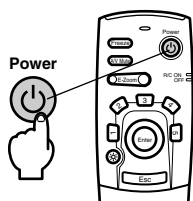
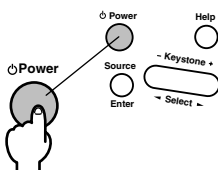
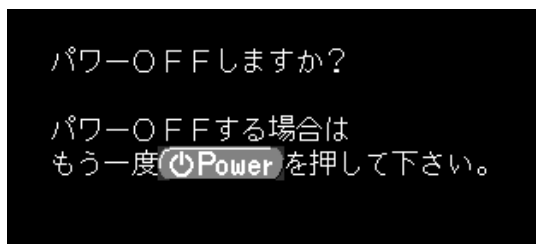
1 接続機器の電源を OFF にします。

2 [Power]ボタンを押します。
パワーOFF確認のメッセージが表示されます。



3 もう一度[Power]ボタンを押します。

ランプが消灯し、オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウンが始まります。



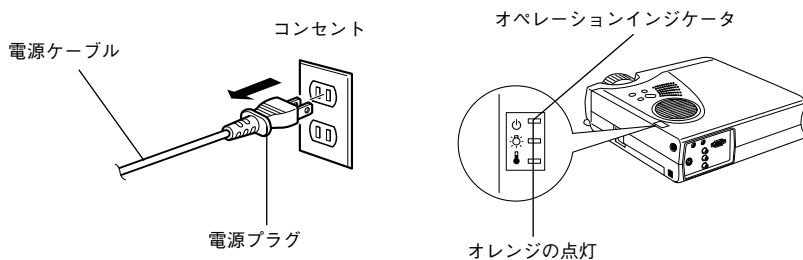
クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータが点滅からオレンジ色の点灯に変わります。

クールダウンの時間は約90秒です(外気温などによって変わります)。

Point

- 電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。何も操作しないと、7秒後にメッセージが消えます(電源は切れません)。
- オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

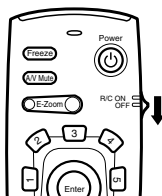
- 4** クールダウンが終了した(オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯している)ことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。



⚠ 注意

オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

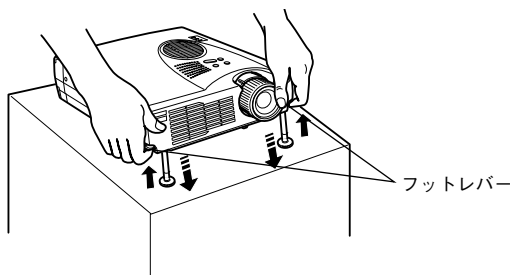
- 5** リモコンを使っていた場合は、R/C ON OFF スイッチを「OFF」にします。



Point

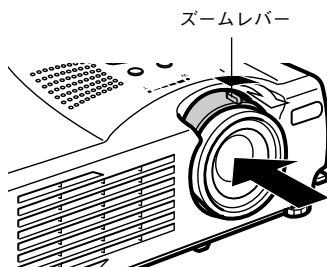
リモコンの R/C ON OFF スイッチが「ON」になっていると電池が消耗します。使用しないときは R/C ON OFF スイッチを「OFF」にしてください。

- 6** フロントフットが出ているときは収納します。
本体を手で支えながらフットレバーを指で引き上げ、ゆっくり本体を下に降ろします。



7 レンズカバーを取り付けます。

8 ズームレバーを回し、レンズを本体内に収納します。



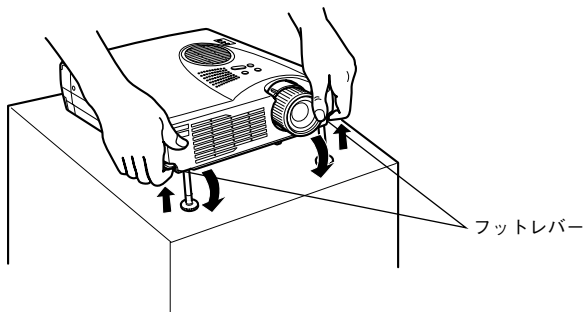
■ 投写位置の調整

上下の投写位置を調整できます。

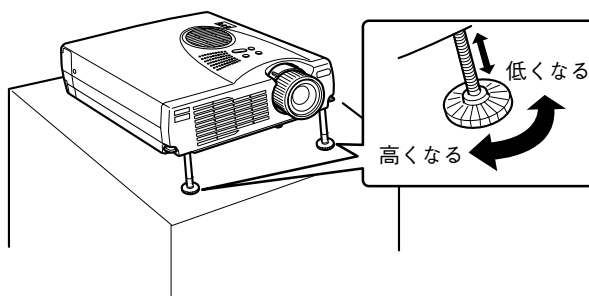
フット調整

プロジェクターの投写角度を調整します。

- 1 フットレバーを指で引き上げながらプロジェクターの前部分を持ち上げます。
フロントフットが出てきます。



- 2 フットレバーから指を離した後、本体からも手を離します。
- 3 フロントフット下部を回して高さを微調整します。



Point

- フット調整をすると、画面が台形に歪むことがあります。台形歪みは台形補正で調整してください。(参照:40 ページ)
- フロントフットは、フットレバーを指で引き上げながらプロジェクターを降ろして収納します。

■ 投写サイズの調整

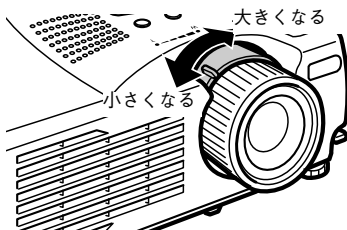
投写サイズを調整したり、台形歪みを補正できます。

Point

画面サイズを切り替えるリサイズ機能(参照:47ページ)や一部分を拡大するEズーム機能(参照:49ページ)もあります。

ズームの調整

- 1 ズームレバーを回して調整します(約1.2倍まで拡大できます)。



さらに拡大したいときは、投写距離で調整してください。(参照:19ページ)

Point

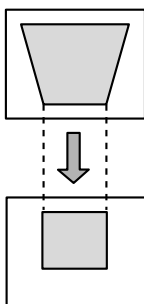
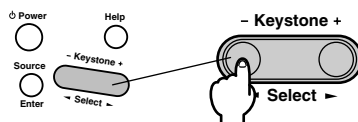
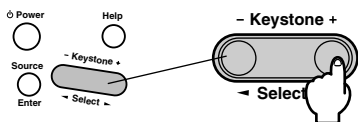
投写時はズームレバーを「W」から「T」の位置でお使いください。

「W」(センター)位置より調整範囲を越えて回すと、レンズが本体に収納され、ピントが合わなくなります。

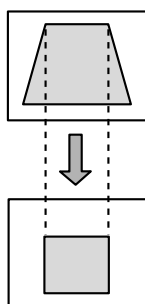
台形補正

フット調整で画面が台形に歪んだ場合は補正します。

1 本体の [Keystone +、-] ボタンを押し、画面を長方形にします。

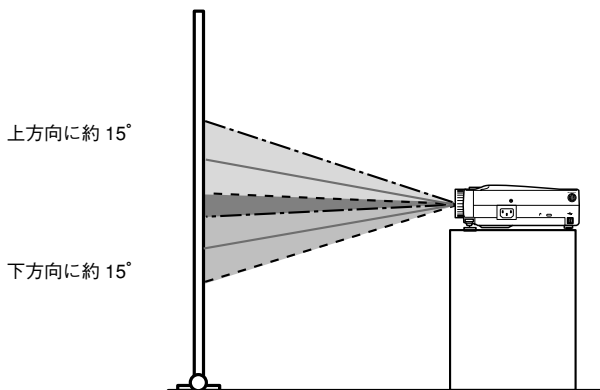


補正され画面が小さくなる



補正され画面が小さくなる

本体の傾斜角度が、上、下方向に約15°までの範囲内であれば、台形補正で調整(30段階)できます。傾斜角度の最大値はズームの調整による投写サイズにより多少異なります。



Point

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。(参照:61 ページ)
- 台形補正はメニューでも調整できます。(参照:62 ページ)

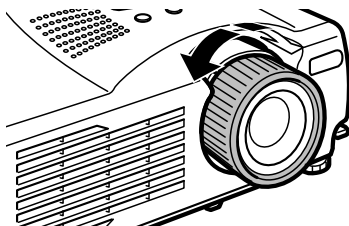
■ 画質の調整

映像のピントや乱れを調整します。

フォーカス調整

映像のフォーカス(ピント)を合わせます。

1 フォーカスリングを回して調整します。



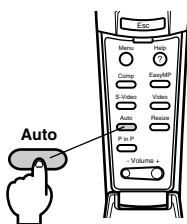
Point

- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。(参照:79 ページ)
- 設置距離が 1.1 ～ 13.9m からはずれると、うまく調整できません。設置距離を確認してください。
- ズームレバーの位置が「W」から「T」の範囲をはずれるとピントが合いません。

Auto 調整(コンピュータ映像投写時)

コンピュータの映像を自動的に最適な状態に調整します。調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。

1 リモコンの「Auto」ボタンを押します。



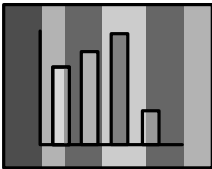
Point

- E ズームや A/V ミュート、ピクチャー・イン・ピクチャーを実行しているときにオート調整をすると、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号の種類によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、それぞれトラッキングと同期を調整してください。(参照:42 ページ)

トラッキング調整(コンピュータ映像投写時)

コンピュータの映像に縦の縞模様が出る場合に調整します。

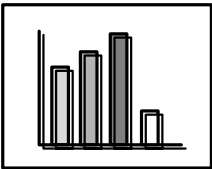
1 「メニュー」 - 「映像」 - 「トラッキング」で調整します。



同期調整(コンピュータ映像投写時)

コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出る場合に調整します。

1 「メニュー」 - 「映像」 - 「同期」で調整します。



機能の紹介

投写時にボタンで操作できる機能には、次表のものがああります。

機能	概要	ボタン		参照ページ
		本体	リモコン	
ヘルプ	トラブル発生時の解決方法を表示します。	Help	Help	43
A/V ミュート	映像と音声を一時的に消します。	—	A/V Mute	45
フリーズ	映像の動きを一時的に停止します。	—	Freeze	46
リサイズ	映像のサイズを切り替えます。	—	Resize	47
Eズーム	映像を部分的に拡大します。	—	E-Zoom	49
エフェクト	映像に装飾を付けます。	—	[1]～[5] (Effect)	50
ピクチャー・イン・ピクチャー	映像に子画面を付けます。	—	Pin P	54
キーストーン	台形歪みを補正します。	Keystone	—	40
オート調整	映像を自動的に最適な状態に調整します。	—	Auto	41
音量	音量を調整します。	—	Volume	55
メニュー	メニューを表示します。	—	Menu	59

便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な機能について説明しています。

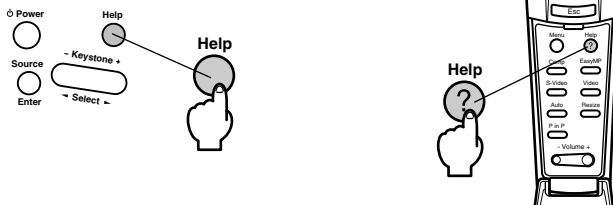
■ 便利な機能

ヘルプ機能

トラブル発生時の解決方法を項目別に表示します。困ったときにお使いください。

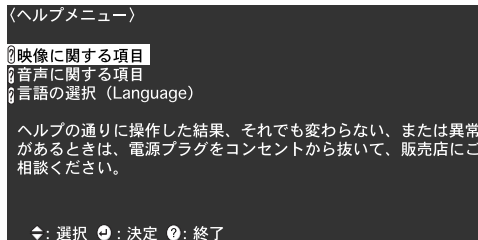
1 [Help] ボタンを押します。

ヘルプメニューが表示されます。



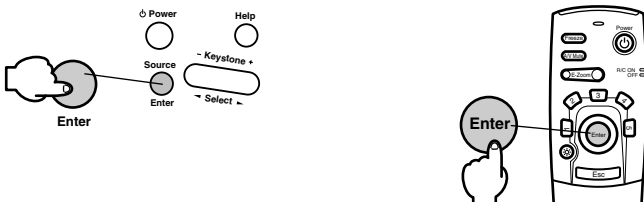
2 項目を選択します。

本体の[Select]ボタンを押して(リモコンの場合は[Enter]ボタンを上下に倒して)項目を選択します。

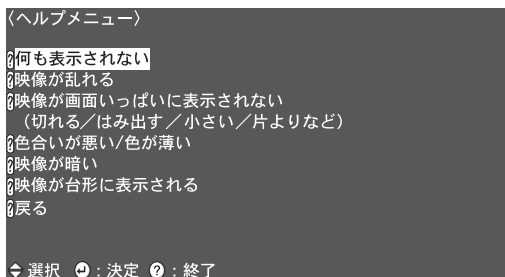


3 項目を決定します。

[Enter]ボタンを押して項目を決定します。



4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。



Point

- ヘルプ機能を使っても分からないときは、本書の「困ったときに」を参照してください。
(参照:68 ページ)
- ヘルプメニューは、[Help]ボタンを押すと解除されます。

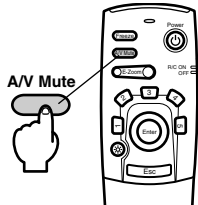
■ 投写の中断

映像や音声を一時的に消したり停止させたりできます。

A/V ミュート機能

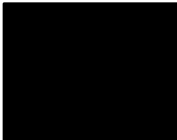
映像と音声を一時的に消します。

- 1 リモコンの [A/V Mute] ボタンを押します。
映像と音声が消えます。



再度[A/V Mute]ボタンを押すか、音量を調整または、メニューを表示すると投写を再開します。映像と音声を一時的に消したときの状態は設定メニューのA/V ミュートの設定により、次の3種類の中から選択できます。(参照:62ページ)

黒一色

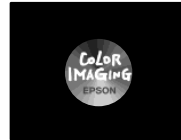


初期設定

青一色



ユーザーロゴ



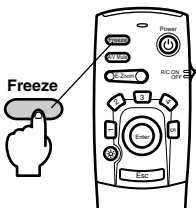
Point

ユーザーロゴには、EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。(参照:63 ページ)

フリーズ機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。

- 1** リモコンの [Freeze] ボタンを押します。
映像が停止します。

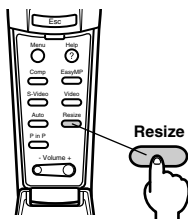


再度[Freeze]ボタンを押すと解除されます。

映像サイズの切り替え

コンピュータ映像投写時は、ウィンドウ表示とリサイズ表示を切り替えます。
ビデオ映像投写時はアスペクト比 4:3 と 16:9 を切り替えます。

- 1** リモコンの [Resize] ボタンを押します。
画面サイズが切り替わります。

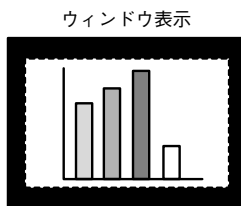
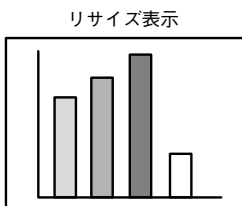


● コンピュータ映像の場合

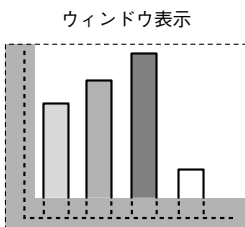
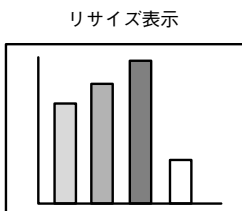
ウィンドウ表示: 入力解像度のまま 投写します (リアル表示)。投写サイズと映像サイズが異なる場合があります。

リサイズ表示: 投写サイズいっぱいになるよう解像度を縮小・拡大して投写します。

(例) 入力解像度が表示解像度より小さい場合 (800 × 600 の場合)



(例) 入力解像度が表示解像度より大きい場合 (1600 × 1200 の場合)



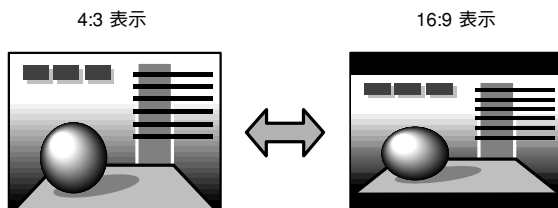
リモコンの [Enter] ボタンを倒してスクロールします。

Point

- 入力解像度が液晶の表示解像度 (1024×768 ドット) と同じ場合は、サイズは切り替わりません。
- 入力解像度が液晶の表示解像度より大きい場合は、映像の一部が表示されません。表示されない部分はリモコンの [Enter] ボタンを倒して表示部分をスクロールしてください。

● ビデオ映像の場合

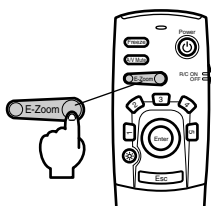
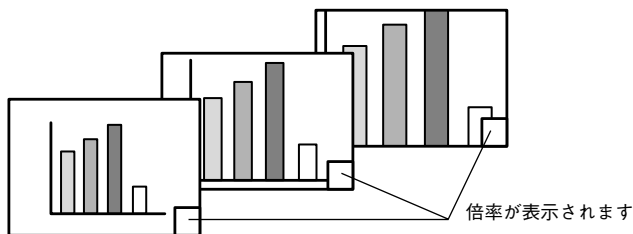
4:3と16:9の映像サイズを切り替えます。デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



■ 映像の拡大(Eズーム機能)

投写サイズはそのまま映像を部分的に拡大します。

- 1 リモコンの[E-Zoom] ボタンを押します。
右下に倍率が表示され、映像が拡大・縮小します。



リモコンの[Esc]ボタンを押すと解除されます。

Point

- 1～4倍まで、0.125倍刻みに24段階で拡大できます。
- 拡大した場合は、映像の一部が表示されません。表示されない部分はリモコンの[Enter]ボタンを倒して表示部分をスクロールします。
- ピクチャー・イン・ピクチャー機能使用中は、子画面が拡大されます。

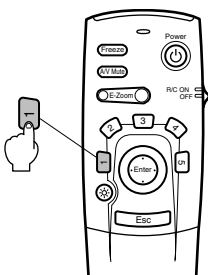
■ エフェクト機能

リモコンの[Effect] ボタンでプレゼンテーション中の映像に装飾付けられます。装飾の設定はエフェクトメニューで変更できます。(参照:62 ページ)

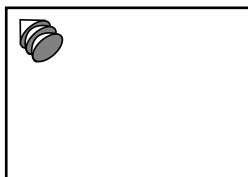
カーソル / スタンプ

映像にスタンプを押せます。

- 1 リモコンの[1] ボタンを押します。
カーソル/スタンプが表示されます。



- 2 リモコンの[Enter] ボタンを倒してカーソル/スタンプの位置を移動します。
- 3 [Enter] ボタンを押すとカーソル位置にスタンプとして表示されます。



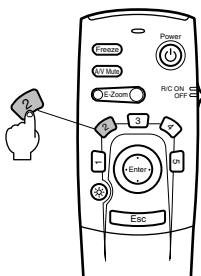
Point

- [Esc]または[5] ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、カーソルが消えます。
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

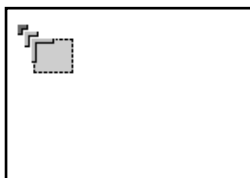
四角

映像に四角を描画できます。

- 1 リモコンの[2] ボタンを押します。
四角が表示されます。

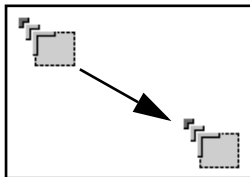


- 2 リモコンの[Enter]ボタンを倒してカーソルを始点まで移動します。



- 3 [Enter]ボタンを押して始点を決定します。

- 4 [Enter]ボタンを倒してカーソルを終点まで移動します。



- 5 [Enter]ボタンを押して終点を決定します。

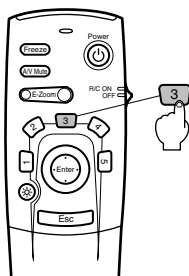
Point

- [5] ボタンを押すと装飾が消えます。
- 映像の背景色と四角の色との組み合わせによっては、エフェクトが見えにくい場合があります。その場合は四角の色を変更してください。(参照:62 ページ)
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

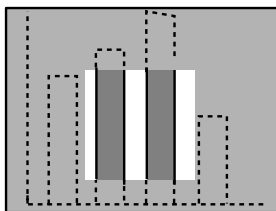
スポットライト

映像の一部にスポットライトを当てることができます。

- 1 リモコンの[3] ボタンを押します。
スポットライトが表示されます。



- 2 [Enter] ボタンを倒してスポットライトを移動します。



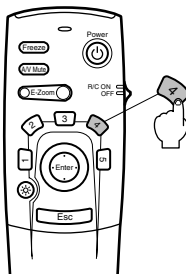
Point

- [Esc] または [5] ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、スポットライトが消えます。
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

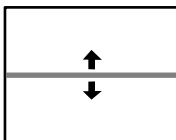
バー

映像に線を描画できます。

- 1 リモコンの[4] ボタンを押します。
バーが表示されます。



- 2 リモコンの[Enter]ボタンを倒してバーを目的の位置まで移動します。

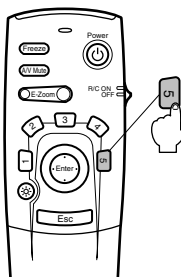


Point

- [Esc]または[5] ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、バーが消えます。
- 映像の背景色とバーの色との組み合わせによっては、エフェクトが見えにくい場合があります。その場合はバーの色を変更してください。(参照:62 ページ)
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

エフェクトクリア

- 1 リモコンの[5] ボタンを押します。
装飾された四角、バーなどがすべて消えます。



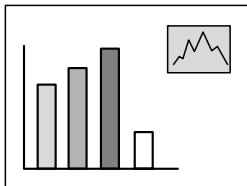
■ ピクチャー・イン・ピクチャー機能

コンピュータ映像またはコンポーネントビデオ映像の中にビデオ映像を子画面として表示できます。

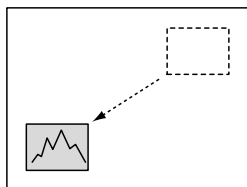
また、音声を出すこともできます。

1 リモコンの [P in P] ボタンを押します。

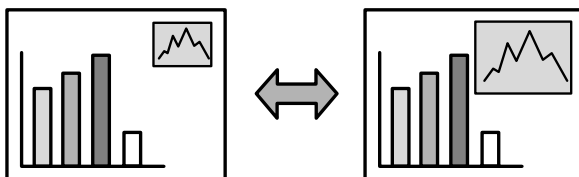
画面の右上に子画面が、左下に操作の案内が表示されます。



2 リモコンの [Enter] ボタンを倒して子画面の位置を移動します。



3 [E-Zoom] ボタンを押して子画面のサイズを変更します。



4 [Enter] ボタンを押して子画面の表示を決定します。

Point

- 再度 [P in P] ボタンを押すと子画面が消えます。
- 親画面にはコンピュータ映像またはビデオ映像(コンポーネントビデオ信号のみ)、子画面にはビデオ映像 (Video、S-Video) が表示され、子画面のビデオ映像は P in P 設定で変更できます。(参照:62 ページ)
- 子画面の位置とサイズの調整は、子画面の表示を決定する前におこなってください。
- 子画面のサイズは 5 段階で切り替えられます。
- 子画面の位置を変更した場合、次にピクチャー・イン・ピクチャーを実行すると子画面は前回決定した場所に表示されます。

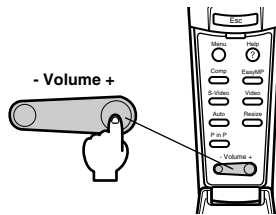
調整・設定

ここでは、プロジェクターの音量調整や設定メニューの操作方法について説明しています。

■ 音量の調節

音声をプロジェクターのスピーカから出力している場合は、音量を調節できます。

1 リモコンの [Volume +、-] ボタンを押します。



Point

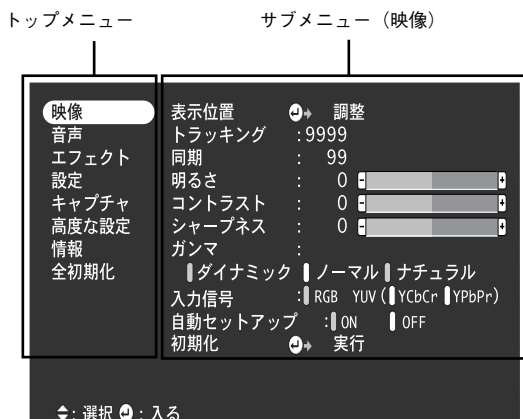
- 音声信号が入っていないときは調整できません。
- 外部スピーカへ出力しているときも調整できます。

■ メニューの構成

設定メニューでは各種調整や設定ができます。

メニュー項目

メニューはトップメニューとサブメニューがあり、階層構造になっています。また、映像メニューは、入力ソース(接続している端子)によってサブメニューの項目が異なります。



● 各メニュー項目

映像メニュー-コンピュータ

映像	表示位置	調整
音声	トラッキング	: 9999
エフェクト	同期	: 99
設定	明るさ	: 0
キャプチャ	コントラスト	: 0
高度な設定	シャープネス	: 0
情報	ガンマ	:
全初期化	ダイナミック	ノーマル ナチュラル
	入力信号	: RGB YUV (YCbCr YPbPr)
	自動セットアップ	: ON OFF
	初期化	実行

◀: 選択 ▶: 入る

映像メニュー-EasyMP

映像	明るさ	: 0
音声	コントラスト	: 0
エフェクト	シャープネス	: 0
設定	ガンマ	:
キャプチャ	ダイナミック	ノーマル ナチュラル
高度な設定	初期化	実行
情報		
全初期化		

◀: 選択 ▶: 入る

映像メニュー-ビデオ (Video/S-Video)

映像	表示位置	調整
音声	明るさ	: 0
エフェクト	コントラスト	: 0
設定	色の濃さ	: 0
キャプチャ	色合い	: 0
高度な設定	シャープネス	: 0
情報	ガンマ	:
全初期化	ダイナミック	ノーマル ナチュラル
	ビデオ信号方式	選択 [Auto]
	初期化	実行

◀: 選択 ▶: 入る

映像メニュー-コンポーネント

映像	表示位置	調整
音声	トラッキング	: 0
エフェクト	同期	: 0
設定	シャープネス	: 0
キャプチャ	ガンマ	:
高度な設定	ダイナミック	ノーマル ナチュラル
情報	入力信号	: RGB YUV (YCbCr YPbPr)
全初期化	自動セットアップ	: ON OFF
	初期化	実行

◀: 選択 ▶: 入る

Point

- 映像メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり、投写している入力ソース以外のメニューについては、ほとんどの項目を調整することができません。
- 映像信号が入力されていないときは映像メニューのほとんどの項目を調整することができません。

音声メニュー

映像	音量	: 15
音声	トーン	: 0
エフェクト	初期化	実行
設定		
キャプチャ		
高度な設定		
情報		
全初期化		

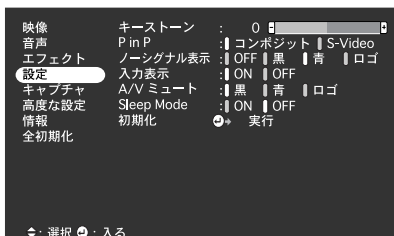
◀: 選択 ▶: 入る

エフェクトメニュー

映像	1 カーソル/スタンプ	設定
音声	2 四角	設定
エフェクト	3 スポットライト	設定
設定	4 バー	設定
キャプチャ	ポイント移動速度	L M H
高度な設定	初期化	実行
情報		
全初期化		

◀: 選択 ▶: 入る

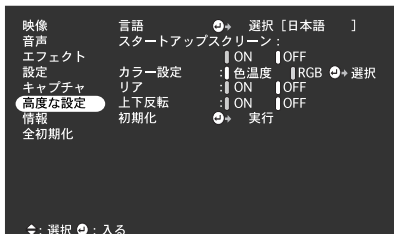
設定メニュー



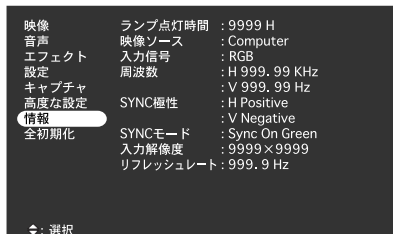
ユーザーログメニュー



高度な設定メニュー



情報メニュー



情報メニューは、ランプの累積使用時間と、投写している入力ソースの設定状態を表示しています。

全初期化メニュー



Point

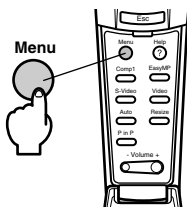
ランプ点灯時間は、0～10時間までは 0H として表示されます。10 時間以上は 1 時間単位で表示します。

■ メニューの操作

メニューはリモコンで操作します。

操作方法

- 1 リモコンの [Menu] ボタンを押します。
トップメニューが表示されます。



- 2 項目を選択します。
リモコンの [Enter] ボタンを上下に倒して項目を選択します。

映像
音声
エフェクト
設定
キャプチャ
高度な設定
情報
全初期化

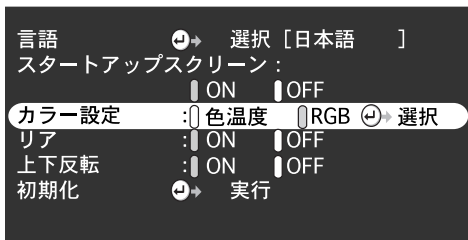
- 3 項目を決定します。
[Enter] ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューが選択されます。

- 4 さらに詳細なサブ項目を選択します。
[Enter] ボタンを上下に倒してサブ項目を選択します。
映像メニューや情報メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

言語 選択 [日本語]
スタートアップスクリーン :
 ON OFF
カラー設定 : 色温度 RGB 選択
リア : ON OFF
上下反転 : ON OFF
初期化 実行

5 設定値を選択します。

[Enter] ボタンを左右に倒して設定値を選択します。



Point

- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに **↵** (Enter) が付いています。この項目の場合は [Enter] を押して決定した後、さらに設定値を選択します。
- 各設定項目の機能については各設定項目の一覧表を参照してください。(参照:61 ページ)

6 続いて他の項目も同様に設定します。

7 [Menu] ボタンを押します。

メニューを終了します。

Point

- [Esc] ボタンを押すと 1 つ前の階層のメニューに戻ります。
- 映像メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり、投写している入力ソース以外のメニュー調整をすることはできません。
- 映像信号が何も入っていないときは映像メニューが調整できません。

各設定項目

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 [Enter] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	トラッキング	コンピュータ映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
	同期	コンピュータ映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ●ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト*の調整で発生することもあります。 ●トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	0
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
	コントラスト*	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
	色合い	映像の色合いを調整します。	中心値 (0)
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
	ガンマ	映像の色の鮮やかさを補正します。 ダイナミック：色の差がはっきりした映像にします。図形などの表示に向いています。 ノーマル： 補正しない色合いのまま投写します。 ナチュラル： 自然な色合いの映像にします。ビデオ映像に向いています。	ノーマル
	入力信号	Computer/Component Video 端子に接続する入力映像信号のモードを設定します。 RGB : RGB 信号を入力するときに設定します YCbCr : コンポーネントビデオ信号 (YCbCr) を入力するときに設定します YPbPr : コンポーネントビデオ信号 (YPbPr) を入力するときに設定します	RGB
	自動セットアップ	「ON」にすると、コンピュータ入力映像を最適化します。	ON
	初期化	映像メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。(参照：63 ページ)	—
音声	音量	音量を調整します。	15
	トーン	音質を調整します。	0
	初期化	音声メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。(参照：63 ページ)	—

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
エフェクト	カーソル / スタンプ	リモコンの [1] ボタンに割り当てられているカーソル / スタンプの形状や倍率、色、長さを設定します。 [Enter] ボタンを押して表示されるカーソル/スタンプ設定メニューで項目を選択し、設定します。(選択したカーソルの形状によっては、倍率や色・長さの設定できません) ● カーソル / スタンプは [1] ボタンで実行します。(参照: 50 ページ)	形状:  倍率: 100%
	四角	リモコンの [2] ボタンに割り当てられている四角の色や塗りつぶしの有無、形状を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示される 四角設定メニューで項目を選択し、設定します。 ● 四角は [2] ボタンで実行します。(参照: 51 ページ)	色: 緑 塗りつぶし: あり 形状: 四角
	スポットライト	リモコンの [3] ボタンに割り当てられているスポットライトの大きさを設定します。 [Enter] ボタンを押して表示される スポットライト設定メニューから選択します。 ● スポットライトは [3] ボタンで実行します。 (参照: 52 ページ)	大きさ: 中
	バー	リモコンの [4] ボタンに割り当てられているバーの色や方向、線幅を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示されるバー設定メニューで項目を選択し、設定します。 ● バーは [4] ボタンで実行します。(参照: 53 ページ)	色: マゼンタ 方向: 横 線幅: 8
	ポインタ移動速度	ポインタの移動速度を選択します。 L: 遅い M: 中間 H: 速い	M
	初期化	エフェクトメニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。(参照: 63 ページ)	—
設定	キーストーン	台形に歪んだ画面を補正します。 ● 台形補正をすると画面が小さくなります。 ● 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 ● 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 (参照: 61 ページ)	中心値 (0)
	P in P	ピクチャー・イン・ピクチャー機能の子画面の入力ソースを設定します。 ● ピクチャー・イン・ピクチャー機能は [PinP] ボタンで実行します。(参照: 54 ページ)	コンボジット
	ノースIGNAL表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態を設定します。 ● ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	青
	入力表示	入力ソースを画面に表示するかしないかを設定します。	ON
	A/V ミュート	[A/V Mute] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ● ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
	Sleep Mode	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で 30 分間操作しないと自動的に投写を終了し、Sleep Mode になります。(オペレーションインジケータはオレンジ色に点灯しています) [Power] ボタンを押すと投写を再開します。	ON
	初期化	設定メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。(参照: 63 ページ)	—

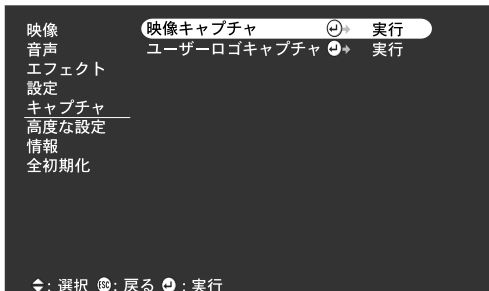
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
キャプチャ	映像キャプチャ	現在投写されている映像をメモリカードに保存します。(参照:66 ページ) [Enter] ボタンを押して表示される確認画面に従って操作します。 ● 保存にはしばらく時間がかかります。	—
	ユーザーロゴ キャプチャ	ユーザーロゴを登録します。(参照:64 ページ) [Enter] ボタンを押して表示される確認画面に従って操作します。 ● 保存にはしばらく時間がかかります。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。 ● 登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。 ● ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。	EPSON ロゴ
高度な設定	言語	メッセージに表示する言語を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
	スタートアップ スクリーン	電源オン後のウォームアップ時にユーザーロゴを表示できます。 ● ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
	カラー設定	映像の色温度 * を調整します。 色温度: 色温度を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示されるカラー設定メニューで設定します RGB: RGB (赤緑青) の各色ごとの強さを設定します。 [Enter] ボタンを押して表示されるカラー定義メニューで R (赤)、G (緑)、B (青) の項目を選択し、設定します。 ● 設定は画面の状態を見ながら調整してください。	色温度
	リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに「ON」に設定します。投写映像が左右反転します。	OFF
	上下反転	「ON」に設定すると投写映像が上下左右反転します。	OFF
	初期化	高度な設定メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	—
情報		(現在の設定を表示します)	—
全初期化	実行	設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ● ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語、BNC の設定は初期値に戻りません。	—

- 映像メニューや情報メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり、投写している入力ソース以外のメニューを調整することはできません。
- 情報メニューは投写している入力ソースの設定状態を表示します。

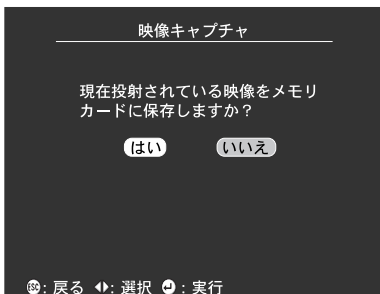
映像キャプチャ

現在表示している映像をメモリカードに保存します。

- 1 キャプチャしたい映像を表示します。
- 2 [Menu] ボタンを押し、「キャプチャ」の「映像キャプチャ」を選択します。
確認画面が表示されます。



- 3 「はい」を選択し、[Enter] ボタンを押します。
登録する映像と再確認の画面が表示されます。



- 4 「はい」を選択し、[Enter] ボタンを押します。
映像が保存されます。保存終了画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



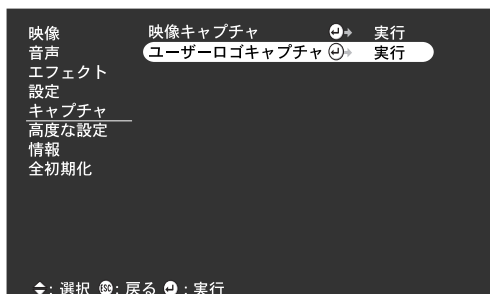
Point

- 保存にはしばらく時間がかかります(約2～3秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- メモリカードが挿入されていないと保存できません。
- 保存している間は、メモリカードを抜かないでください。
- 映像をキャプチャすると、メモリカードに「Capture」フォルダが作成され、その中に画像が jpg 形式で保存されます。
- コンピュータと USB 接続しているときは映像キャプチャできません。
- メモリカードが挿入されていない場合は映像キャプチャできません。
- EasyMP の映像はキャプチャできません。

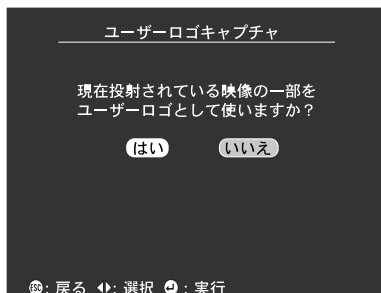
ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

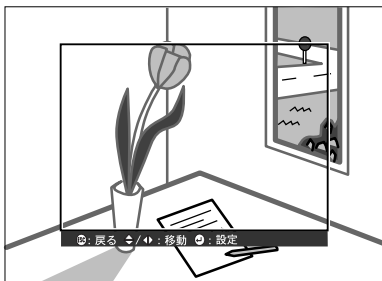
- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を表示します。
- 2 [Menu]ボタンを押し、「キャプチャ」の「ユーザーロゴキャプチャ」を選択します。
確認画面が表示されます。



- 3 「はい」を選択し、[Enter]ボタンを押します。
登録する映像が表示されます。



- 4** 映像の位置を調整し、[Enter]ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



- 5** 「はい」を選択し、[Enter]ボタンを押します。
倍率設定画面が表示されます。

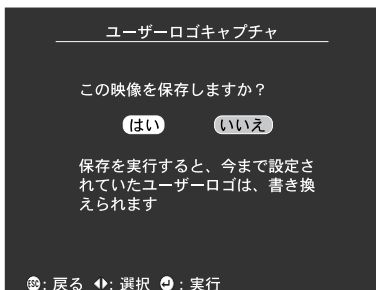


- 6** 倍率を選択し、[Enter]ボタンを押します。
保存を確認する画面が表示されます。



7 「はい」を選択し、[Enter]ボタンを押します。

映像が保存されます。保存終了画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



Point

- 保存にはしばらく時間がかかります(約 40 秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- 登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。
- ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

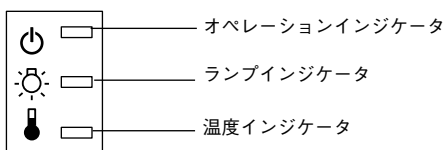
困ったときに

ここでは、想定されるトラブルおよび対処方法を説明しています。

■ 故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。

本プロジェクターには「オペレーションインジケータ」「ランプインジケータ」「温度インジケータ」があり、プロジェクターの状態を知らせています。



オペレーションインジケータ

インジケータの状態	原因	処置または状態	参照ページ
オレンジ色に点灯	スタンバイ状態です	(異常ではありません) [Power] ボタンを押すと投写を開始します。	32
オレンジ色に点滅	クールダウン中です	(異常ではありません) ● そのまましばらくお待ちください。 クールダウン* (ランプを冷やす動作) の時間は外気温などによって変わります。 ● クールダウン中は [Power] ボタンは操作できません。クールダウンが終了するとオレンジ色の点灯に変わりますので、もう一度操作してください。	35
緑色に点灯	投写中です	(異常ではありません)	33
緑色に点滅	ウォームアップ中です	(異常ではありません) ● そのまましばらくお待ちください。 ● ウォームアップ終了後、緑色の点滅が点灯に変わります。	33
赤色に点滅	内部に異常があります	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
消灯	電源が入っていません	電源が入っていません ● 電源ケーブルの接続を確認してください。 ● コンセントの電源を確認してください。	32

ランプインジケータ

インジケータの状態	原 因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	ランプの交換時期です	新しいランプ（ELPLP14）と交換してください。	
赤色に点滅	ランプに異常が発生しています	- ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。割れていない場合は再セットします。その後、本体の電源を入れます。それでも直らないときや、ランプが割れている場合は、破片だけがをしないように取り扱いに注意し、エプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。（交換しないと映像を投写することはできません。） - ランプの交換をおこなった場合は、ランプやファンが確実に取り付けられているか確認してください。ランプ及びファンが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。	82
オレンジ色に点滅	ランプの交換時期が近づいています	新しいランプの用意をしてください。使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。	82
消灯		（異常ではありません） 電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

温度インジケータ

インジケータの状態	原 因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	内部が高温になっています（オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態でお待ちください。5分経過したら、電源プラグを一旦抜いて、差し直します。オーバーヒートした場合は、次の2点を確認して改善します。 - 通気のよい場所に設置されていますか。吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 - エアフィルタにホコリが溜まっていませんか。エアフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますのでプロジェクターの電源ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。	18 80
赤色に点滅	内部に異常があります	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
オレンジ色に点滅	高速冷却中	（異常ではありません。更に高温になると投写を自動的に停止します。） - 本プロジェクターの使用温度範囲は5℃～40℃ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 - 吸気口・排気口をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。 - エアフィルタの掃除をしてください。	18 80
消灯		（異常ではありません） 電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

Point

- インジケータは正常なのに投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご参照ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

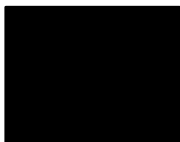
■ インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

・映像が写らない	70 ページ	・映像が暗い	76 ページ
・映像が汚い	74 ページ	・音が出ない	77 ページ
・映像が切れる (大きい) / 小さい	75 ページ	・リモコンで操作ができない	77 ページ
・映像の色が悪い	76 ページ	・終了しない	78 ページ

映像が写らない

● 何も表示されない



何も表示されない

● レンズカバーが付いたままではありませんか？

[参照：31 ページ](#)

● 電源を OFF にしてすぐ ON にしませんでしたか？

投写終了後（クールダウン中）は [Power] ボタンの操作はできません。クールダウン *（投写ランプを冷やす動作：オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しています）が終了してから [Power] ボタンの操作が有効となります。

[参照：35 ページ](#)

● Sleep Mode をオンにしていますか？

Sleep Mode を「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このときオペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。

[参照：62 ページ](#)

● [Power] ボタンを押しましたか？

[参照：33 ページ](#)

● 映像の明るさは正しく調整されていますか？

[参照：61 ページ](#)

● [A/V Mute] モードになっていませんか？

[参照：45 ページ](#)

● 入力映像そのものが真黒になっていませんか？

スクリーンセーバーなどで入力映像が真黒になっていることがあります。

● 映像信号が入力されていますか？

「メニュー」－「設定」－「ノーシグナル表示」で OFF に設定されているときは、メッセージが表示されません。黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。

メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。

[参照：71 ページ](#)

● 初期化してみてください。

[参照：63 ページ](#)

● メッセージが出る



「この信号は本プロジェクターでは受けられないタイプです」と表示される

- コンピュータから出力されている映像信号の解像度が UXGA (1,600x1,200) より上になっていませんか？

参照：22 ページ

- コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。

参照：22 ページ



「映像信号が入力されていません」と表示される

- ケーブル類が正しく接続されていますか？

参照：21 ページ

- 接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？

本体の [Source] (リモコンの場合は [Comp]、[S-Video]、[Video]、[EasyMP]) ボタンを押し、映像を切り替えてください。

参照：34 ページ

- 接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？

参照：33 ページ

- ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。

通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていないので、外部に切り替えてください。

外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などを参照してください。

参照：21 ページ



「EasyMP システムに異常が発見されました」と表示される

- 再起動が必要です。

一度電源コードをコンセントを抜いてから、再度接続して電源を入れてください。同じ状態が繰り返す場合は電源コードをコンセントから抜いて販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。



「メモリカードがありません」と表示される

- メモリカードが挿入されていますか？

メモリカードを（プロジェクター本体の）カードスロットに挿入してください。



「表示できるファイルがありません」と表示される

●メモ리카ードに表示可能なファイルが保存されていますか？

EasyMP で表示可能なファイルは、シナリオファイル (.sit)、JPEG ファイル (.JPG)、ビットマップファイル (.BMP) です。これらのファイル以外は認識しません。

※ Windows 上では (.JPEG) という拡張子の JPEG ファイルも JPEG ファイルとして認識できますが、EasyMP では認識できませんので、JPEG ファイルの拡張子は (.JPG / .jpg) に合わせるようにしてください。



「ファイルがありません」と表示される

●指定したファイルを削除していませんか？

USB 接続により PC からメモ리카ードの内容を書き換えた場合、表示されているファイル一覧の内容と実際のメモ리카ードの内容が異なることがあります。[EasyMP] ボタンを押し、ファイル表示を更新してください。



「表示できません」と表示される

●グレースケールの JPEG 画像を指定していませんか？

EasyMP はグレースケールの JPEG 画像を表示できません。

●プログレッシブ JPEG 画像を指定していませんか？

EasyMP はプログレッシブ JPEG 画像を表示できません。

●指定したファイルが壊れていませんか？

JPEG ファイル、またはビットマップファイルの内容が不正である可能性があります。また、一部のデジタルカメラで撮影したファイルや一部のソフトウェアで加工したファイルは、表示できない場合があります。



「表示できないサイズです」と表示される

●SXGA (1280 × 1024) を超える解像度の JPEG 画像を指定していませんか？

SXGA (1280 × 1024) を超える解像度の JPEG ファイル、ビットマップファイルは表示することができません。EMP スライドメーカなどを使って解像度を調整してください。



「画像ファイルの色数が足りません」と表示される

●24ビットカラー以外のビットマップを指定していませんか？

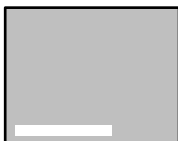
24ビットカラー以外のビットマップ (256 色、16 色等) は表示できません。24ビットカラーのビットマップに変更してください。



「ファイルを保存できません」と表示される

●メモ리카ードの容量がいっぱいになっていませんか？

ファイルを保存する容量がないときには、ファイルを削除するなど空き容量を増やしてください。

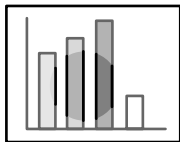


「キャプチャに失敗しました」と表示される

●コンピュータとUSB で接続した状態でキャプチャしていませんか？

USB 接続中は映像をキャプチャできません。USB ケーブルをはずしてください。

映像が汚い



- 映像がぼやける
- 映像の一部しかピントが合わない
- ピントが全くあわない

● レンズが本体に収納されていませんか？

ズームレバーの位置が「W」から「T」の範囲をはずれるとピントが合いません。「W」から「T」の範囲で使用してください。

参照：39 ページ

● ピントは正しく調整されていますか？

参照：41 ページ

● フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？

投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。

● 投写距離は最適ですか？

投写距離の推奨範囲は、1.1m ～ 13.9m です。この範囲で設置してください。

参照：19 ページ

● 投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？

参照：20 ページ

● レンズが汚れていませんか？

参照：79 ページ

● レンズが結露していませんか？

寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。電源を切ってしばらく放置してください。

● 「同期 *・トラッキング *・表示位置」は正しく調整されていますか？

[Auto] ボタンを押して調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

参照：42, 61 ページ

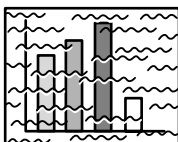
● 映像の信号形式の設定は合っていますか？

「メニュー」－「映像」－「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。

● 入力信号が接続機器に合っていますか？

「メニュー」－「映像」－「入力信号」で信号方式を設定してください。コンピュータの場合は「RGB」に、コンポーネントビデオ信号の場合は「YCbCr」または「YPbPr」（機器の信号に合わせる）にします。

参照：61 ページ



- 映像が乱れる
- ノイズが入る

●ケーブルは正しく接続されていますか？参照：21, 28 ページ

●解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。
参照：21 ページ

●「同期 *・トラッキング *・表示位置」は正しく調整されていますか？

[Auto] ボタンを押して調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。参照：42, 61 ページ

●ケーブルを延長していませんか？

ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用するか、増幅機器などを接続して確認してください。

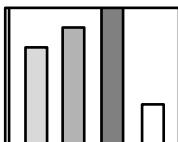
●映像の信号形式の設定は合っていますか？

「メニュー」－「映像」－「ビデオ信号方式」で、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。参照：61 ページ

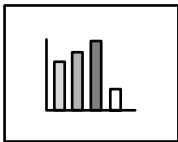
●入力信号が接続機器に合っていますか？

「メニュー」－「映像」－「入力信号」で、信号方式を設定してください。コンピュータの場合は「RGB」に、コンポーネントビデオ信号の場合は「YCbCr」または「YPbPr」（機器の信号に合わせる）にします。参照：61 ページ

映像が切れる(大きい)/ 小さい



- 映像が切れる
- 小さい



●「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。

[Resize] ボタンを押してください。参照：47 ページ

●「表示位置」は正しく調整されていますか？

「メニュー」－「映像」－「表示位置」で調整してください。
参照：61 ページ

●解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。
参照：22 ページ

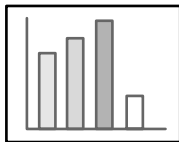
●ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。

画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。参照：21 ページ

●デュアルディスプレイの設定をしていませんか？

コントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像を投写したとき、半分くらいしか表示されません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

映像の色が悪い



- 映像の明るさは正しく調整されていますか？

参照：61 ページ

- ケーブル類が正しく接続されていますか？

参照：21, 28 ページ

- コントラスト* は正しく調整されていますか？

参照：61 ページ

- カラー設定は正しく調整されていますか？

参照：63 ページ

- 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？

（コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。）

参照：61 ページ

- ランプの交換時期ではありませんか？

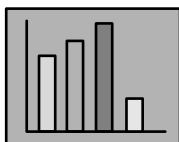
ランプインジケータが点灯している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることをお知らせしています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

参照：82 ページ

- 入力信号が接続機器に合っていますか？

「メニュー」－「映像」－「入力信号」で、信号方式を設定してください。コンピュータの場合は「RGB」に、コンポーネントビデオ信号の場合は「YCbCr」または「YPbPr」（機器の信号に合わせる）にします。

映像が暗い



- ランプの交換時期ではありませんか？

ランプインジケータが点灯している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることをお知らせしています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

参照：82 ページ

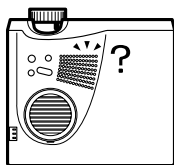
- 映像の明るさは正しく調整されていますか？

参照：61 ページ

- コントラストは正しく調整されていますか？

参照：61 ページ

音が出ない



- 音声入力は正しく接続されていますか？

参照：24, 28 ページ

- 音声を出したい映像が選択されていますか？

参照：34 ページ

- 接続した機器から音が出ていますか？

接続機器の音量などを確認してください。

- 音量調整が最小になっていませんか？

参照：55 ページ

- 「A/V Mute」が ON のままではありませんか？

「A/V Mute」モードになっていることが考えられます。

「A/V Mute」ボタンを押すか、音量を調整またはメニューを表示して「A/V Mute」を解除してください。

参照：45 ページ

- 外部スピーカへ出力していませんか？

Audio Out 端子へステレオミニジャックを接続しているときは、本体のスピーカから音声は出力されません。

参照：25 ページ

リモコンで操作ができない



- リモコンの R/C ON OFF スイッチが「ON」になっていますか？

参照：33 ページ

- 正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？

操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15°です。

参照：16 ページ

- プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？

操作可能距離は、約 10m です。

参照：16 ページ

- プロジェクターのリモコン受光部がふさがれていませんか？

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？

- 乾電池は入っていますか？

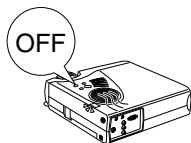
参照：17 ページ

- 乾電池が消耗していませんか？

- 乾電池が逆にセットされていませんか？

参照：17 ページ

終了しない([Power]ボタンを押した後…)



- オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。

本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。

コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。

- ファンが止まらない。

[Power] ボタンを押して電源を切った後、クールダウン*（投写ランプを冷やす動作：オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しています）をおこないます。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※クールダウンの時間は、外気温などによって変わります。

メンテナンス

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などメンテナンス項目について説明しています。

■ 本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除

本体が汚れたり映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。また、エアーフィルタは100時間ごとを目安に掃除をしてください。

⚠ 警告

- サービスマン以外の方はキャビネットを絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、感電の原因となります。内部の点検・修理・調整・清掃などは、お買い上げの販売店または、エプソンサービスコールセンターに依頼してください。
- 電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
 - ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。

⚠ 注意

- 使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。電源を切ってから約 60 分経過して、ランプが十分冷えてからおこなってください。
- お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

本体の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから掃除をしてください。

本体の掃除

- 本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

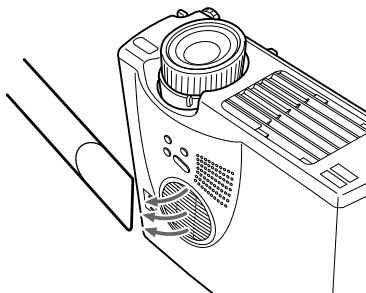
レンズの掃除

レンズの掃除は、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどでおこなってください。レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアーフィルタのごみが中に入らないように、必ずプロジェクターを立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



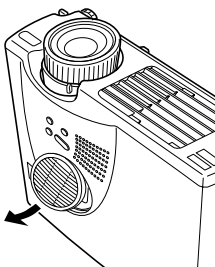
Point

- エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- 交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。

■ エアーフィルタの交換

交換のしかた

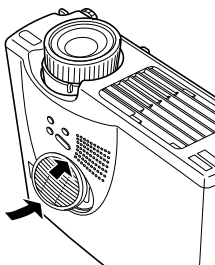
- 1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。
クールダウンの時間は、外気温などによって変わります。
- 2 エアーフィルタをドライバのようなもので上にあげ、はずします。



Point

エアーフィルタのごみが中に入らないように、必ずプロジェクターを立てたまま交換してください。

- 3 新しいエアーフィルタをセットします。



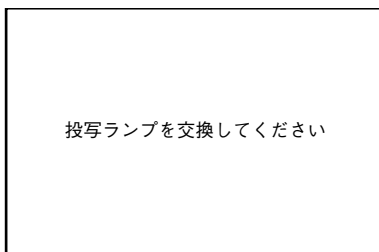
Point

- つめの部分を先に入れてから反対側を押し付けてセットします。
- 使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプの交換

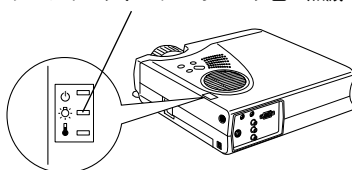
次のときは、ランプの交換をしてください。(型番 ELPLP14)

投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」のメッセージが 30 秒間表示されたとき



ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき

ランプインジケータがオレンジ色に点滅



初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

Point

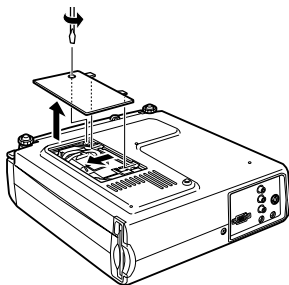
- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約 900 時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でもすみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は、約 900 時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、900 時間前に点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはエプソンOA サプライ株式会社、フリーダイヤル(0120)251-528および、お近くのエプソン商品取扱店でお買い求めください。

交換のしかた

1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。
クールダウンの時間は、外気温などによって変わります。

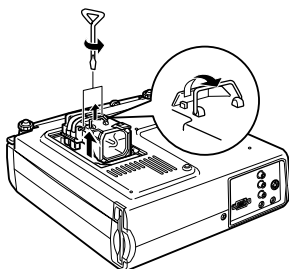
2 ランプが十分冷えてからランプカバーをはずします。

- ランプが十分冷えるには約60分間が必要です。
- ファン固定ねじ1個をゆるめ、はずします。



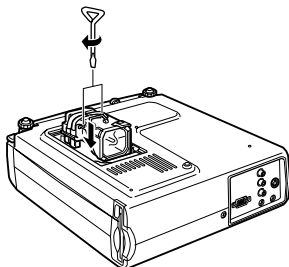
3 ランプを引き出します。

ランプ固定ねじ2個をゆるめ、取手をおこしてランプを引き出します。

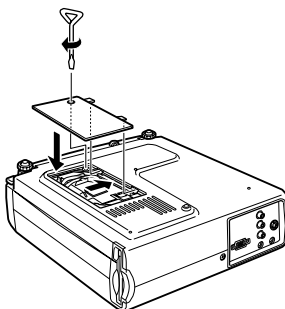


4 新しいランプを取り付けます。

方向を合わせ、奥に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ2個をしめます。



- 5** ランプカバーを取り付けます。
方向を合わせて差し込み、ねじ1個をしめます。



Point

- ランプは確実に取り付けてください。このプロジェクターは安全のため、ランプカバーをはずすと自動的に電源が切れます。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源は入りません。
- 交換用ランプに交換用エアフィルターが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。
- 新しいランプを取り付けたときは、自動的に点灯時間が初期化されます。

その他

ここでは、オプションやアフターサービスなどのご案内と仕様、用語解説といった技術的項目を説明しています。

■ オプション品

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

品名	型番
交換用ランプ	ELPLP14
60 型スクリーン	ELPSC07
80 型スクリーン	ELPSC08
携帯スクリーン (50 型)	ELPSC06
54 型分割マグネットスクリーン	ELPSC09
マルチメディアビューワー	ELPDC02
マルチメディアビューワー	ELPDC03
コンピュータケーブル ミニ D-Sub15pin/ ミニ D-Sub15pin (1.8m：付属品と同等)	ELPKC02
コンピュータケーブル ミニ D-Sub15pin/ ミニ D-Sub15pin (3.0m)	ELPKC09
コンピュータケーブル ミニ D-Sub15pin/ ミニ D-Sub15pin (20m)	ELPKC10
コンポーネントビデオケーブル ミニ D-Sub15pin/ RCA ×3 (3.0m)	ELPKC19
D 端子ケーブル ミニ D-Sub15pin (3.0m)	ELPKC22
ソフトキャリングケース (ノート PC 収納可能タイプ)	ELPKS16
ソフトキャリングケース (付属品と同等)	ELPKS24
PC セレクタ	ELPST01

■ 輸送方法について

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

● 修理などでメーカーに輸送する場合

- お買い上げいただいたときの輸送箱をご利用ください。
- 輸送箱がない場合には、本機に衝撃が伝わらないように、本体の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて輸送してください。

● ハンドキャリングする場合

付属のソフトキャリングケースをご利用ください。

※ 航空機での移動の場合には、手荷物として持ち込んでください。

※ お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

A/V Mute	一時的に音声と映像を消すことをいいます。本プロジェクターでは [A/V Mute] ボタンを押すことにより音声と映像を消すことができます。再度 [A/V Mute] ボタンを押すか、音量を調整またはメニューを表示させると解除されます。
D 出力端子	日本国内での新規デジタル放送に対応したデジタルチューナーの出力端子です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのを呼びます。
SXGA	IBMPC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのを呼びます。
Sync (同期)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相 (山のずれ) を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのを呼びます。
XGA	IBMPC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBMPC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのを呼びます。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。
色差信号	ビデオ機器から赤 - 輝度 (R-Y)、黄 - 輝度 (Y)、青 - 輝度 (B-Y) の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号 (赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式) とくらべて、よりきれいに投写することができます。
オペレーティングシステム	コンピュータを動かすために必要なソフトウェアです。
クールダウン	Power ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続きおこなわれています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数 (山の数) を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

仕様

品名	マルチメディアプロジェクター
型番	ELP-715/505
外形寸法	幅267×高さ72×奥行き213mm（レンズ、フット含まず）
パネルサイズ	0.9 型（幅 18.5 ×高さ 13.9 ×対角23.1mm）
表示方式	ポリシリコン TFT
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み
画素数	ELP-715：786,432 個（横 1,024 ×縦 768 ドット）×3 ELP-505：480,000 個（横 800 ×縦 600 ドット）×3
フォーカス調整	手動
ズーム調整	手動（約 1：1.2）
ランプ（光源）	UHE ランプ型番：ELPLP14 定格 150W
音声最大出力	1W モノラル
スピーカ	1 個
電源	100-240 VAC 50/60 Hz1.9A 定格消費電力 230 W スタンバイ時 5W
使用温度範囲	+ 5℃～+ 35℃（結露のないこと）
保存温度範囲	－ 10℃～+ 60℃（結露のないこと）
質量	約 2.7kg
接続端子	Computer/Component Video 端子 1 系統 ミニ D-Sub 15pin（メス）
	Audio In 端子 1 系統 ステレオミニジャック
	Audio Out 端子 1 系統 ステレオミニジャック
	Video 端子 1 系統 RCA ピンジャック
	S-Video 端子 1 系統 ミニ DIN 4pin
	L-Audio-R 端子（Video 用） 1 系統 RCA ピンジャック×2（L、R）
	Mouse/Com 端子 1 系統 DIN 13pin
	USB 端子 1 系統 USB（Series B）
カードスロット	PCMCIA Type II
同梱カード（カードアダプタ）	CFA 仕様コンパクトフラッシュカード対応 ATA 規格準拠

※ USB 端子は、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

■ 保証とアフターサービス

● 保証書

保証期間中に万一、故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。保証書は、製品の保証期間を証明するものです。保証書の内容をよくご覧いただき、大切に保管してください。

また、保証期間中に修理をご依頼いただく際は、必ず保証書を添付してください。

● 修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、本書の「困ったときに」をご覧いただき、接続や設定に間違いのないことをご確認ください。それでも直らないときは、次の処置を行ってから修理を依頼してください。ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。

- 次ページ以降のチェックシートをチェックする。
- プロジェクターの電源を切る。
- プロジェクターの電源コネクタとコンセントから電源コードを抜く。

● 保守サービスの種類と申し込み先

本機には、次の保守サービスが用意されています。ご要望に合うものをお選びください。プロジェクターの出張修理サービスは行っていません。あらかじめご了承ください。

持ち込み修理

修理品を次のいずれかにお持ちいただくか、送付していただき、いったんお預かりして修理します。

【持ち込み・送付先】

- 製品をお買い求めいただいた販売店
 - エプソンの各修理センター
- 各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

ドア to ドアサービス

お申し込みいただくと、エプソン指定の運送業者が修理品を引き取りに伺います。ドア to ドア料金(輸送費)は有償となります。保証期間外の場合は、ドアtoドア料金とは別に修理代金が必要となります。

【申し込み先】

- エプソンの各修理センター
- 各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

年間保守契約

製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込み、または送付いただき、いったんお預かりして修理いたします。

修理のつどの修理代※がかかりませんので、予算化ができ便利です。また、下記の代替機サービスを受けられます。

※ランプは消耗品です。ランプの交換を行った場合、ランプの費用は有償となります。

【申し込み先】

- エプソンサービスコールセンター
- エプソンサービスコールセンターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

代替機サービス

次の場合は、修理期間中、代替機の貸し出しを行っています。

- 保証期間内の修理期間中
- 保守契約を結ばれているお客様の修理期間中

【申し込み先】

- エプソンサービスコールセンター
- エプソンサービスコールセンターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

● 部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品(本製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。この期間は通商産業省(昭和49年通達)の指導によるものです。

■ チェックシート

お客様のプロジェクターで発生しているトラブルの症状を正確にお伝えいただくために、お問い合わせ前にコピーしてチェックしてください。

● 映像編

お問い合わせ内容

- ☐ 電源が入らない
- ☐ 画面に何も表示されない
- ☐ メッセージが出る
 - ☐ NO SIGNAL
 - ☐ 映像信号が入力されていません
 - ☐ 本プロジェクターでは受けられない信号です
- ☐ 青画面（ブルーバック）
- ☐ 投写映像
- ☐ ロゴ（メッセージは出ない）

- 映像が切れる・小さい
 - ☐ 表示されない部分がある
 - ☐ スクリーンサイズよりも小さい
 - ☐ 画面が台形に歪む
 - ☐ 数ドット分欠けている
- 映像が汚い
 - ☐ 画像がぼやける、ピントが合わない
 - ☐ 縞模様が入る
 - ☐ ちらつく
 - ☐ 文字が欠けて見える
- 映像の色が悪い・暗い
 - ☐ 暗い
 - ☐ 色が悪い、暗い（コンピュータ）
 - ☐ 色が悪い、暗い（ビデオ）
 - ☐ TV、CRTと色が違う

メニュー

- ☐ メニューが表示される
- 設定
 - ☐ Sleep Mode ON
- ☐ 情報（コンピュータ）
 - ランプ時間 h
 - 周波数 H Hz
 - V Hz
 - SYNC極性 H ☐ Positive ☐ Negative
 - V ☐ Positive ☐ Negative
 - SYNCモード ☐ Separate ☐ Composite
 - ☐ Sync on Green
- 入力解像度 X
- リフレッシュレート Hz
- ☐ 情報（ビデオ）
 - ランプ時間 h
 - ビデオ信号方式 ☐ AUTO
 - ☐ NTSC
 - ☐ その他

※現象を記入してください。

ELP-シリアルナンバー

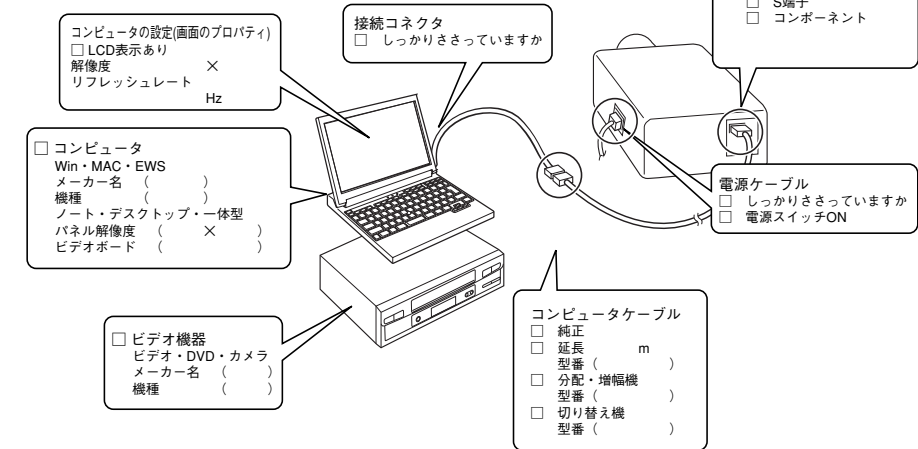
購入時期 年 月

インジケータ
(インジケータのランプ色、点灯点滅の状態を
書いてください)

オーバーレション ☐

ランプ ☐

温度 ☐



～をおこなうと必ず発生する、など

- 発生時期 ☐ 使用前 ☐ 使用開始直後 ☐ 使用中 ☐ その他 ()
- 発生頻度 ☐ 常時 ☐ たまに () 回中 () 回 ☐ その他 ()

● 音声編

お問い合わせ内容

- ☐ 音が聞こえない
- ☐ 音が小さい
- ☐ 音が割れる
- ☐ 違う音が出る

メニュー

- ☐ メニューが表示される
- 音声
 - ☐ 音量 ()

ELP-
シリアルナンバー

購入時期
年 月

接続コネクタ

- ☐ しっかりささっていますか
- ☐ 外付けのスピーカー等をつないで音が出ていますか

コンピュータ

- ☐ Win・MAC・EWS
- メーカー名 ()
- 機種 ()
- ☐ 音を鳴らす設定になっていますか

ビデオ機器

- ☐ ビデオ・DVD・カメラ
- メーカー名 ()
- 機種 ()

オーディオケーブル

- ☐ A/V ケーブル
- ☐ 純正
- ☐ 延長 m
- 型番 ()
- ☐ 切り替え機
- 型番 ()

音声入力コネクタ

- ☐ しっかりささっていますか
- ☐ ステレオミニ
 - ☐ Audio In
- ☐ RCA (ピン)
 - ☐ S
 - ☐ コンボジット
 - ☐ コンポーネント

映像入力コネクタ

- ☐ コンピュータ
 - ☐ Computer
 - ☐ コンポーネント
- ☐ ビデオ
 - ☐ コンボジット
 - ☐ S

発生時期 ☐ 使用前
発生頻度 ☐ 常時

☐ 使用開始直後 ☐ 使用中
☐ たまに (回中 回)

~をおこなうと必ず発生する、など
☐ その他 ()
☐ その他 ()

■ 国際保証制度

本機にはワールドワイド保証がついており、購入された国以外の世界 48ヶ国以上で修理が受けられます。製品に添付された保証書に記載の内容は、この国際保証の内容ではなく、その保証書の有効な国においてサービスを受ける際に適用されますことをご留意願います。

エプソンのマルチメディアプロジェクターの国際保証は以下の国においてのみ適用されます。

<欧州>

- ・ オーストリア ・ベルギー ・ブルガリア ・クロアチア ・キプロス ・チェコ
- ・ デンマーク ・フィンランド ・フランス ・ドイツ ・ギリシャ ・ハンガリー
- ・ アイルランド ・イタリア ・ルクセンブルグ ・マケドニア ・オランダ
- ・ ノルウェー ・ポルトガル ・ポーランド ・ルーマニア ・スロバキア ・スロベニア
- ・ スペイン ・スウェーデン ・スイス ・トルコ ・イギリス ・ユーゴスラビア

<北米・中米>

- ・ カナダ ・コスタリカ ・メキシコ ・アメリカ

<南米>

- ・ アルゼンチン ・ブラジル ・チリ ・コロンビア ・ペルー ・ベネズエラ

<アジア・オセアニア>

- ・ オーストラリア ・中国 ・ホンコン ・日本 ・韓国 ・マレーシア ・シンガポール
- ・ 台湾 ・タイ

保証期間と条件は以下の記載によります。

- 1) この保証は、製品を購入した国で発行された保証書またはレシートを提示された場合に有効となります。
- 2) この保証は、この取扱説明書に記載された国のエプソン及びエプソン指定のサービス機関の条件に基づき実施されます。
 - ・ 保証期間は購入から24ヶ月。
 - ・ 保証の適用範囲はエプソンの保証の受入条件に沿ったスペアパーツ代と修理工賃
 - ・ 修理中の代替機の貸与は原則としておこなわない。
- 3) この保証は、下記の場合には適用されません。
 - a. 消耗品(ランプ)及びオプション品の故障の場合
 - b. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、輸送による損傷及び本書の内容に従わず取り扱われた場合
 - c. エプソン及びエプソン指定のサービス機関以外の第三者により、修理、変更された場合
 - d. エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合

ご注意

電源ケーブルについては購入国の電源状況に基づきセットされています。海外でご使用される場合には、必ずその国向けのエプソン純正電源ケーブルをお買い求めください。

エプソンマルチメディアプロジェクター国際保証連絡先リスト

この連絡先リストは 2001 年 8 月 8 日現在のもので、最新の連絡先は下記の各国の連絡先の Web Home Page を参照下さい。それらの記載が無い場合はメインの Web Home Page www.epson.com をご覧ください。

<EUROPE>

AUSTRIA :

**EPSON Support Center
Austria**
Tech. Help Desk: 00491805
235470
Web Address:
<http://www.epson.at>

BELGIUM :

**EPSON Support Center
BeNeLux**
Tech. Help Desk: 032 70222082
Web Address:
<http://www.epson.be>

BULGARIA :

PROSOFT
6. Al Jendov Str.
BG-1113 Sofia
Tel: 00359.2.730.231
Fax: 00359.2.9711049
E-mail: Prosoft@internet-BG.BG

CROATIA :

Recro d.d.
Trg. Sportova 11
HR-10000 Zagreb
Tel: 00385.1.6350.777
Fax: 00385.1.6350.716
E-mail: recro@recro.hr
Web Address:
<http://www.recro.hr>

CYPRUS :

CTC- INFOCOM
6a. Ionos Str., Engomi
P. O. Box 1744
2406 Nicosia, Cyprus
Tel: 00357.2.458477
Fax: 00357.2.668490

CZECH :

EPRINT s.r.o.
Stresovicka 49
CZ-16200 Praha 6
Tel: 00420.2.20180610
Fax: 00420.2.20180611
E-mail: eprint@mbox.vol.cz

DENMARK :

Tech. Help Desk: 80881127

FINLAND :

Tech. Help Desk: 0800.523010
(note. Some geographical
areas excluded)

FRANCE :

EPSON France,
68 bis rue Marjolin, F-92300
Levallois,
Tech. Help Desk: 0.836.686.687
Web Address:
<http://www.epson.fr>

GERMANY :

EPSON Deutschland GmbH
Zülpicher Straße 6
D-40549 Düsseldorf
Tech. Help Desk: 01805 235470
Web Address:
<http://www.epson.de>

GREECE :

Pouliadis Ass. Corp.
Aristotelous St. 3
GR-19674 Athens
Tel: 0030.1.9242072
Fax: 0030.1.9441066

HUNGARY :

R.A. Trade Kft.
Petöfi Sandor u. 64
H-2040 Budaörs
Tel: 0036.23.415.317
Fax: 0036.23.417.310

IRELAND :

Tech. Help Desk: 01.6799016

ITALY :

EPSON Italia s.p.a.
Assistenza e Servizio Clienti
Viale F. Lli Casiraghi, 427
20099 Sesto
San Giovanni (MI)
Tech. Help Desk: 02.29400341
Web Address:
<http://www.epson.it>

LUXEMBURG :

**EPSON Support Center
BeNeLux**
Tech. Help Desk:
0032 70 222082
Web Address:
<http://www.epson.be>

MACEDONIA :

Rema Kompjuteri d.o.o.
St. Naroden Front 19a
lok 16
91000 Skopje/ Macedonia
Tel: 00389.91.118159
Fax: 00389.91.118159

NETHERLANDS :

**EPSON Support Center
BeNeLux**
Tech. Help Desk: 043 3515752
Web Address:
<http://www.epson.nl>

NORWAY :

Tech. Help Desk: 800.11828

POLAND :

FOR EVER Sp. z.o.o.
Ul. Frankciska Kawy 44
PL- 01-496 Warszawa
Tel: 0048.22.638.9782
Fax: 0048.22.638.9786
E-mail: office@for-ever.com.pl

PORTUGAL :

EPSON Portugal, S.A.
Rua do Progresso, 471-1
Perafita- Apartado 5132
Tech. Help Desk: 0808 200015
Web Address:
<http://www.epson.pt>

ROMANIA :

MB Distribution S.R. L.
162, Barbu Vacarescu Blvd.
Sector 2
RO- 71422 Bucharest
Tel: 0040.1.2300314
Fax: 0040.1.2300313
E-mail: office@mbd-epson.ro

SLOVAKIA :

Print Trade spol. s.r.o.
Cajkovskeho 8
SK-98401 Lucenec
Tel: 00421.863.4331517
Fax: 00421.863.4325656
E-mail: Pmtrd@lc.psg.SK
Web Address:
<http://www.printtrade.sk>

SLOVENIA :

Repro Ljubljana d.o.o.
 Smartinska 106
 SLO-1001 Ljubljana
 Tel: 00386.61.1853411
 Fax: 00386.61.1400126

SPAIN :

EPSON IBERICA, S.A.
 Avda. Roma 18-26,
 08290 Cerdanyola del Vallès,
 Barcelona, SPAIN
 Centro At. al Cliente: 902.404142
 E-mail: soporte@epson.es
 Web Address:
<http://www.epson.es>

SWEDEN :

Tech. Help Desk: 08 445 1258

SWITZERLAND :

EXCOM Service AG
 Moosacher Str. 6
 CH-8820 Wädenswil
 Tel: 01.7822111
 Fax: 01.7822349
 Web Address:
<http://www.excom.ch>

TURKEY :

**Romar Pazarlama Sanayi ve
 TIC. A.S.**
 Rihtim Cad. No. 201
 Tahir Han
 TR-Karaköy-Istanbul
 Tel: 0090.212.2520809
 Fax: 0090.212.2580804

UNITED KINGDOM :

EPSON (UK) Ltd.
 Campus 100, Maylands Avenue
 Hemel Hempstead,
 Herts, HP2 7TJ
 Tech. Help Desk: 0990 133640
 Web Address:
<http://www.epson.co.uk>

YUGOSLAVIA :

BS Procesor d.o.o.
 Hadzi Nikole Zivkovic 2
 11000 Beograd
 Tel: 00381.11.639610
 Fax: 00381.11.639610

<NORTH, CENTRALAMERICA & CARIBBEAN ISLANDS>**CANADA :**

Epson Canada, Ltd.
 100 Mural Street, Suite 300
 Richmond Hill, Ontario
 CANADA L4B 1J3
 Tel: 905-709-3839
 Web Address:
<http://www.epson.com>

MEXICO :

Epson Mexico, S.A. de C.V.
 AV. Sonora #150
 Mexico, 06100, DF
 Tel: (52 5) 328-4008
 Web Address:
<http://www.epson.com.mx>

U. S. A. :

Epson America, Inc.
 3840 Kilroy Airport Way
 Long Beach, CA90806
 Tel: (562) 276-4394
 Web Address:
<http://www.epson.com>

COSTA RICA :

Epson Costa Rica, S.A.
 Embajada Americana,
 200 Sur y 300 Oeste
 San Jose, Costa Rica
 Tel: (50 6) 296-6222
 Web Address:
<http://www.epsoncr.com>

<SOUTH AMERICA>**ARGENTINA :**

Epson Argentina S.A.
 Avenida Belgrano 964/970
 (1192), Buenos Aires
 Tel: (54 11) 4346-0300
 Web Address:
<http://www.epson.com.ar>

CHILE :

Epson Chile S.A.
 La Concepcion 322
 Providencia, Santiago
 Tel: (562) 236-2543
 Web Address:
<http://www.epson.cl>

PERU :

Epson Peru S.A.
 Av. Del Parque Sur #400
 San Isidro, Lima, Peru
 Tel: (51 1) 224-2336
 Web Address:
<http://www.epson.com>

BRAZIL :

Epson Do Brasil Ltda.
 Av. Tucunare, 720
 Tambore Barueri,
 Sao Paulo, SP 06460-020
 Tel: (55 11) 7295-1757
 Web Address:
<http://www.epson.com.br>

COLOMBIA :

Epson Colombia Ltda.
 Diagonal 109, 15-49
 Bogota, Colombia
 Tel: (57 1) 523-5000
 Web Address:
<http://www.epson.com.co>

VENEZUELA :

Epson Venezuela S.A.
 Calle 4 con Calle 11-1
 La Urbina Sur
 Caracas, Venezuela
 Tel: (58 2) 241-0433
 Web Address:
<http://www.epson.com.ve>

<ASIA & OCEANIA>

AUSTRALIA :

EPSON AUSTRALIA PTY LIMITED

70 Gibbes Street Chatswood
NSW 2067 AUSTRALIA
Tel: 1300 361 054
Web Address:
<http://www.epson.com.au>

CHINA :

Beijing TOYOU OPTICS&ELECTRONICS CO.,LTD

Unit 301 Huazhong Building ,No.4
Zhongguancun nanlu,
Haidian,Beijing,China
ZIP code: 100080
Tel: 086-10-6257 1633
Fax: 086-10-6264 5944

HongKong Rarestar Co.,LTD Beijing Office

Room 5338,Building 3, XIYUAN
Hotel
No.1 Sanlihe Road,
Beijing,China
ZIP code: 100044
Tel: 086-10-6830 3686/87/88
Fax: 086-10-6836 2341

Beijing PEONY Electronics Information Co.Ltd

5 Office Building,172 # Xizhimen
Street,
Xicheng District, Beijing,China.
ZIP code: 100035
Tel: 086-10-6612 0416
Fax: 086-10-6615 5430

Sunrise IT System Co.,Ltd

Room 3113, Everybright TTIC
Bldg.,No.15
Bai shi qiao Road, Hai dian
District, Beijing,China
ZIP code: 100081
Tel: 086-10-6848 6898
Fax: 086-10-6848 6771

above 4 service centers are managed by EPSON (Beijing) Technology Service Co.,Ltd (EBTS)

Room 102, North. The Grand
Pacific Garden
Mansion,8A Guanghai Road,
Chaoyang District,
Beijing, China
ZIP code: 100026
Tel: 086-10-6581 4301
Fax: 086-10-6581 4265
<http://www.172.24.2.98>

HONGKONG :

EPSON Technical Support Centre (Information Centre)

Rooms 4706-4710,
China Resources Building,
26 Harbour Road, Wan Chai,
HONG KONG
Tech. Hot Line: (852) 2585 4399
Fax: (852) 2827 4383
Web Address:
<http://www.epson.com.hk>

JAPAN :

SEIKO EPSON CORPORATION SHIMAUCHI PLANT

VD Customer Support Group:
4897 Shimauchi, Matsumoto-shi,
Nagano-ken, 390-8640 JAPAN
Tel: 0263-48-5438
Fax: 0263-48-5680
<http://www.i-love-epson.co.jp>

KOREA :

EPSON KOREA CO., LTD

17F HANSOL Bldg., 736-1,
Yaoksam-dong Kangnam-gu,
Seoul, 135-080, KOREA
Tel: 2-553-3515
Fax: 2-5584271
<http://www.epson.co.kr>

MALAYSIA :

EPSON TRADING (MALAYSIA) SDN. BHD.

No. 21 Jalan U 1/19, Seksyen U1,
Hicom-grenmarie Industrial
Park, 40150 Shan Alam,
Selangor Darul Ehsan
Tel: 03-5191366
Fax: 03-5191386

SINGAPORE :

EPSON SINGAPORE PTE. LTD.

401 Commonwealth Drive
#01-01 Haw Par Technocentre
SINGAPORE 149598
Tel: 4722822
Fax: 4726408

TAIWAN :

EPSON Taiwan Technology & Trading Ltd.

10F, No.287, Nanking East Road,
Section 3, Taipei, Taiwan, China
Tel: 02-2717-7360 ext. 327
Fax: 02-2713-2155
<http://www.epson.com.tw>

THAILAND :

EPSON (Thailand) Co., Ltd.

24th Floor, Empire Tower,
195 South Sathorn Road, Yannawa,
Sathorn, Bangkok 10120, Thailand
Tel: 6700680 Ext. 309, 316, 317
Fax: 6700688
<http://www.epson.co.th>
Epson Technical Center
21st Floor, Payathai Tower,
128/227 Payathai Road,
Rachataewee, Bangkok 10400,
Thailand
Tel: 6120291~3
Fax: 2165005
<http://www.epson-tech.in.th>

■ 索引

数字

13w3 24

A

[A/V Mute] ボタン 13

A/V ミュート 62

A/Vミュート機能 45

Audio In端子 12, 24

Audio Out端子 12

[Auto] ボタン 14

Auto調整 41

C

Computer/Component Video 12, 23, 30

[Comp] ボタン 14, 34

D

D端子 30

E

[EasyMP] ボタン 14

[Effect] ボタン 13

[Enter] ボタン 13

[Esc] ボタン 14

[E-Zoom] ボタン 13

Eズーム機能 49

F

[Freeze] ボタン 13

H

[Help] ボタン 11, 14

K

[Keystone] ボタン 11

L

L-Audio-R端子 12, 28, 29

M

[Menu] ボタン 14, 59

Mouse/Com端子 10, 12, 26

P

P in P 62

[P in P] ボタン 14

PCMCIAカードアクセスランプ 9

PCMCIAカードスロット 9

[Power] ボタン 11, 13, 33

R

[R/C ON OFF] スイッチ 13, 33, 36

[Resize] ボタン 14

S

Sleep Mode 62, 70

[Source] (Enter) ボタン 11

[Source] ボタン 34

S-Video端子 12, 28

[S-Video] ボタン 14

S映像信号 28

U

USB端子 10, 12

V

Video端子 12, 28

[Video] ボタン 14

[Volume] ボタン 14

あ

明るさ 61

アスペクト比 47

アフターサービス 89

安全上のご注意 5

い

色合い 61

色温度 63

色差 29

色の濃さ 61

インジケータ 13

う

ウィンドウ表示 47

え

エアーフィルタ 9

エアーフィルタの交換 81

エアーフィルタの掃除 79, 80

映像 61
映像サイズ 47
映像信号 29
映像の拡大 49
映像メニュー 57
絵表示 4
エフェクト 62
エフェクト機能 50
エフェクトクリア 53
エフェクトメニュー 57

お

オーバーヒート 69
オプション品 85
オペレーションインジケータ 9, 32, 68
親画面 54
音声 61
音声最大出力 88
音声の接続 24
音声メニュー 57
温度インジケータ 9, 69
音量 55, 61

か

カーソル 50, 62
解像度 22
各部の名前と働き 9
画質の調整 41
カラー設定 63
ガンマ 61

き

キーストーン 62
機能 42
キャプチャ 63
吸気口 9
排気口 9

く

クールダウン 35, 68

け

言語 63

こ

高度な設定 63
高度な設定メニュー 58
子画面 54
国際保証制度 92
故障かなと思ったら 68
コントラスト 61
コンピュータとの接続 21
コンポーネント 29
コンボジット映像信号 28

さ

サブメニュー 56

し

四角 51, 62
シャープネス 61
周波数 22
終了 35
仕様 88
使用温度範囲 8, 88
[(照光)] ボタン 13
情報 63
情報メニュー 58
初期化 61, 62, 63

す

ズーム 39
ズームレバー 9
スクリーンサイズ 19
スタートアップ スクリーン 63
スタンプ 50, 62
スピーカ 9
スポットライト 52, 62

せ

接続できるコンピュータ 21
設置方法 18
設定 62
設定メニュー 56, 58
全初期化 63
全初期化メニュー 58

そ

操作可能距離 16
操作可能範囲 16
操作パネル 9, 11

た

台形補正 40

ち

チェックシート 90
中断 45
調整値 42

て

電源ケーブル 32
電源端子 10, 32
電池カバー 15, 17
電池の入れかた 17

と

同期 42, 61
投写 31
投写位置の調整 38
投写開始 33
投写角度 20, 38
投写距離 19
投写サイズの調整 39
トーン 61
トップメニュー 56
トラッキング 42, 61

に

入出力端子 10
入力信号 61
入力表示 62

の

ノースIGNAL 表示 62

は

バー 53, 62

ひ

ピクチャー・イン・ピクチャー機能 54, 62
左クリック 27
ビデオ機器との接続 28

表示位置 61

ピント 41

ふ

フォーカス 41
フォーカスリング 9, 41
フット調整 38
フットレバー 9, 38
フリーズ機能 46
フロントフット 9, 10, 36, 38

へ

ヘルプ機能 43

ほ

ポインタ移動速度 62
保証 89
保存温度範囲 8, 88
本書の見かた 4
本体の掃除 79

ま

マウスとの接続 26

み

右クリック 27
ミニD-Sub 15pin 23

め

メニュー項目 56
メニューの構成 56
メニューの操作 59

ゆ

ユーザーロゴ 63
ユーザーロゴメニュー 58
輸送方法 86

よ

用語解説 87

ら

ランプインジケータ 9, 69
ランプカバー 10
ランプの交換 82

り

リア 63

リアフット 10
リサイズ表示 47
リモコン 13, 16
リモコン受光部 9
リモコン発光部 13

れ

レンズカバー 9, 32, 37
レンズの掃除 79

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2は、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows 2000は米国マイクロソフト社の商標です。

EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
<http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

*新日電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新日電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-96-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟	同 右	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚5-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商ビル2F エプソンサービス棟	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に何う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (ナビダイヤル) ※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新日電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新日電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌 (011) 221-7911 東京 (042) 585-8500 名古屋 (052) 202-9532 大阪 (06) 6397-4359 福岡 (092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリントをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

8202002

